# 地方史情報 128

真田幸綱・昌幸・信幸・信繁

柴计俊六

真田氏については、かつて『真田昌幸』(吉川弘文館、1996年)をまとめたことがある。それから20年近くがたち、この間に真田氏に関する著書や論文が数多く発表されている。さらにそれらの記述のもととなる関連史料の新発見や、史料集も多数出版され、真田氏の研究現況は一変している。

とりわけ関連地域である長野県真田町と上田市で、『真田町誌』(歴史編上、1998年) と『上田市誌』(歴史編四~九、2001年) があいついで刊行されたことによって、事実関係の検証が一段と容易になった。さらに武田氏滅亡後の、いわゆる天正壬午の乱(天正10年〈1582〉)から、豊臣秀吉による国内統一経過と、秀吉没後から関ヶ原合戦・大坂の陣までの経過についても、近年、新しい成果が多く発表されている。こうした状況を踏まえて、改めて真田氏三代の動向を見直してみたいと思う。

真田氏三代とは、戦国期真田氏の中興の祖となった幸綱(幸隆)と、その三男で途中から家督を継承した昌幸、さらにその嫡男で家督を継いだ信幸(信之)と、父とともに徳川家康に対抗して落命した次男の信繁のことである。幸綱には嫡男で家督を継いだ信綱がいたが、弟昌輝とともに長篠の戦いで戦死し、治世も短くその遺領は昌幸に継承されているので昌幸と同世代とみておく。

本書は「真田幸綱・昌幸・信幸・信繁」と題し、サブタイトルを「戦国を生き抜いた真田氏三代の歴史」とした。

個性の異なる真田氏三代四名について、その歴史と実像を明らかにしたいとの意図からである。具体的には、真田氏の中興の祖となった幸綱が歴史の舞台に登場してくる天文10年代(1541~)から、その孫である信幸(信之)・信繁兄弟が生死を分けた慶長20年(1615、大坂夏の陣)までの真田氏三代七十年の動向を、事実関係を中心に検討していきたい。

(柴辻俊六『真田幸綱・昌幸・信幸・信繁』、2015.10、小社刊「はじめに」より)

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

### 北海道・東北

#### ◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目 1-1 Tac011-299-6834 年5000円 ◇57 2015.11 B5 16p 第19回アイヌ語地名研究大会終わる/平成27年度定期総会終わる 秋葉宵さんと出会いの頃 伊藤せいち

◆屯田 北海道屯田倶楽部 〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11 ℡011-761-8014 年2000円 1985年創刊 www2.ocn.ne.jp/history/

◇58 2015.10 B5 80p 1000円 巻頭言 時代の変遷と共に一忘れ

てはならない開拓の恩恵 後藤 良二 開拓魂支えた「武士の誇り」

太田屯田兵三世 増田季さん 梶田 博昭 屯田兵の末裔として 斉藤 道子 先人のパワーを知り将来に語りつ

里田

なごう

屯田兵のデザイン考

唱歌「屯田兵」(明治26年)

特集 新琴似中隊長銃撃事件の軍 法会議録公開 実に125年ぶり 「反乱」の真相明らかに

特集 新琴似銃擊事件

軍法会議宣告の全文 明治23年 10月『屯田兵司令部月報』

『三澤日記』の8月18日説裏付け

た新史料 若林 活

襲撃は「積穀騒動」の過程で起

きた 有馬 尚経

米騒動が飛び火?

扶助期限切れで三重苦 梶田 博昭 「当事者」の子孫ら交えナゾに

迫る 公開セミナー開催

古地図の散歩道 「札幌市街之図」

明治24年・村尾元長編

日記に浮かぶ北都の情景 宮内 隆一

一節抜粋 近藤健・佐藤誠著『肥 後藩参百石 米良家』 篠路屯 田兵の意外なルーツを辿る、池 端大二著『加賀泣き伝説の行方 を訪ねて』「送り出す側」から 加賀移民を追跡

北海道移民史を探る旅(4) 北海 道庁時代 直接保護から間接助

長へ 北国 諒星

歴史の中の馬と屯田兵(中) 江口 憲人

◆文化情報 北海道文化財保護協会 〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2·7ビル9階 ℡011-231-4111 hokkaido-bunkazai.ip

**♦352** 2015.11 B4 4p

「民俗共生の象徴となる空間」の

なかの国立のアイヌ文化博物館

(仮称)について

内田 祐一

「夷酋列像」

一魅了する蝦夷イメージ 春木 晶子

道文化財保護功労賞の受賞者が決

定/北海道文化賞及び北海道文

化奨励賞の決定

和食文化の継承 舟山 廣治

帝国書院とその古書室を視る 遠藤紘之助 「旭川の中学校で見つけた|

知里幸恵資料室 西谷内弘明

#### ◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館 〒093-0042北海道網走市潮見309-1 ™0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

**♦98** 2015.9 A4 6p

第30回特別展 森と川の精霊とと

もに ロシア・アムール地方の

アート&クラフト 笹倉いる美

北海道博物館紀行 礼文町郷土資

料館 講師:藤澤隆史氏 種石 悠 調査 能取岬西岸遺跡の発掘調査

種石 悠

講座 北方の機織り

講師:佐々木史郎氏 笹倉いる美

講座 アイヌの人たちの歴史・文

化に関する学習授業の実践につ

いて 笹倉いる美

映像上映会 北方民族博物館映像

上映会 野口 泰弥

**♦99** 2015.12 A4 8p

第30回北方民族文化シンポジウム

網走 北方民族研究30年一成果

・課題・博物館の役割 中田 第

北海道博物館紀行 標茶町ポー川

史跡自然公園 講師:椙田光明

氏 種石 似

講演会 お細工物 すずめ

講師:浜田智津子 笹倉いる美

講座 アムール流域・ナーナイの 文化 講習会 ナーナイ文化の ワークショップ 講師: A.P.ド

ンカーン氏・小野寺マリレイ氏

笹倉いる美

講座 寒いところにいるコウモリ

の世界 講師:近藤憲久氏 山田 洋子

講座 アザラシと人 2015.11.28

講師:小林万里氏 中田 篤

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会 〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大 学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

**♦139** 2015.10 B5 76p

法要から見る萩藩一門家元祖をめ

ぐる藩内秩序 根本みなみ

地域の名菓を探る一近代青森県に

とっての「名菓」とは何か 中園 美穂 弘前津軽家の両敬における書札礼

篠村 正雄

弘前市立弘前図書館所蔵の神田孝 平から下澤保躬にあてた書簡一 陸奥考古学界草創期の一断面

福田友之/福井敏隆

書評と紹介

鐘江宏之著『大伴家持』 武井 紀子 『青森県史 資料編 近世6

幕末維新期の北奥』 工藤 威

山下須美礼著『東方正教の地域

と移行期の人間像一北東北に

おける時代変容意識―』 北原かな子

『新青森市史 通史編第三巻

近代! 本康 宏史

◆道鏡を守る会通信 道鏡禅師を知ろう

〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 15:0229-22-7364 年3000円

**◇2015-10** 2015.10 A4 2p

道鏡講演会無事終了/会誌37号の

誤植等訂正/道鏡を守る会30周

年を記念して会誌を募集します

何かアピールを 船生 史郎

筑紫君磐井(つくしのきみいわい) (本田)

隠れキリシタン墓石探究 川島 恂二 ◇2015-11 2015.11 A4 4p 道鏡さん世界へ/英雄たちの選択 一称徳天皇編一再放送/道鏡さ んのために勉強します(KAさ ん)/宇佐神宮より手紙戴きま した/他人事ではない『歴史読 本』休刊

西大寺での西山氏講演資料より 称徳天皇と西大寺 西山 道鏡を守る会誌8号より(1992) 伊予国弓削島の道鏡物語 その

三 増岡 武男

#### ◆秋田近代史研究会会報

〒010-0852秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育研究室森田信博方 Tai.018-889-2574 ◇号外 2015.10 A4 2p 元代表委員 田口勝一郎氏のご逝 まを慎む

弔辞 森田 信博

- ◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会 〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出版内 TEL018-864-3322 1974年創刊 ◇112 2015.12 B5 4p 第32回東北地方民俗学合同研究会に参加して 鎌田 幸男
- ◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会 〒011-0909秋田県秋田市寺内児桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333 1981年創刊 http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html ◇85 2015.12 B5 18p

真澄の業績を普及しよう一世代を

継ぎ、世界を目指して 小笹 鉄文

真澄の男鹿・八郎潟の八郎伝説 松渕眞洲雄 菅江真澄の旅路をたどって

秋田市立土崎南小学校6年 田口龍大 連載 真澄の一枚(17) 松嶋神社 の臼杵 『粉本稿』より(大館市

立中央図書館提供) 菊地 利雄

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会 〒018-3302秋田県北秋田市栄太田 照内喜久雄方 年2000円 1977年創刊 ◇71 2015.11 A4 83p 1000円 追 悼

弔辞一葬儀に際して 小塚 嘉七 照内捷二先生を悼む 中嶋 俊彦 温かく頼もしい背に贈ります

「ありがとう」 照内 之尋 阿仁前田小作争議考一「昭和十二

年小作調停書類」より 庄司 博信 原始の太陽と月と環状列石 伊勢

堂岱遺跡の持つ神秘さ 木村 清幸 長岐寺旧蔵資料『和漢真俗仏事編』

の意義一近世比内地域における

葬送観調査ノート 佐藤 俊晃 地方史の手帳

秋田杉と米代川の船運

帆走で栄えた流域 小塚 嘉七 中世の鷹巣地方と大館地方 澤田 昌治 澤口小学校(現中央小学校)の創

立と中嶋家とのかかわりにつ

いて 中嶋 忠輝

米代川舟場跡標柱の今 桜田

総会講演会 北秋の歴史と人物

講師:武藤拓自(琢司)氏

歴史教室 北秋田市の石造物と民

間信仰 講師:髙橋正

現地研修 歴史ロマンに溢れる比

内を探訪する〜現地研修会参加

報告 中嶋 俊彦

不動の師 渡辺勝蔵先生 小塚 嘉七 神道とその起源 渡辺 勝蔵 良寛さんのふるさとを訪ねて 渡辺 勝蔵 わが「鷹巣地方史研究」と共に

十五年 渡辺 勝蔵 甦った昌益 渡辺 勝蔵 学究の人 渡辺勝蔵先生を偲ぶ

長崎 久

鷹中時代の渡辺勝蔵先生 中嶋 修三 鷹中時代の渡辺勝蔵先生の思い

出金森嘉次郎

鷹農「郷土史研究部活動記録」と 思い出 斎藤 春夫

伊勢堂岱遺跡 ジュニアボランティアガイド&ジュニアシンポジ

ウム 中嶋 俊彦 鷹巣女性史研究会の学習活動から

寺田 栄子

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8 須崎寛二方 TELO238-43-5299 ◇209 2015.10 B5 10p

熊野大社史おぼえ書(46) 八幡坊、

学頭代となり、また台林院と改

名する須崎 寛二村の鍛冶屋の免状須崎 寛二

**◇210** 2015.12 B5 12p

米沢藩郷村出役 北村孫四郎日記

を読む(1) 須崎 寛二 第230回学習会/第231回学習会/

第232回学習会

八百人のクスリ?

一熊野大社史おぼえ書(47) 須崎 寛二2015年会報 総目次

◆米沢史学 米沢史学会 〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内 Tm 0238-22-7330

**◇31** 2015.10 B5 196p

不作忌避の禁忌と豊穣祈念一「長

期の19世紀」における社会意識

の系譜 浪川 健治 前近代畠作論の地平 木村 茂光

荘内史編纂会の基礎的研究

一発足から解散までの活動 長南 伸治

華岡青洲の弟子「渡邉吉郎」の足 跡一現飯豊町、米沢藩黒澤村か

ら江戸へ 高橋 拓

朝鮮出兵前後の明代中国における 日本認識―『日本考』と『続文

献通考』の記述を焦点として 高橋 亨 日本国二人の将軍といはればや

一『平家物語』の義仲と頼朝 佐々木紀一

村落定書追考 薗部 寿樹 史料紹介

日本史学科所蔵古文書目録Ⅱ (東藤泉村木村家文書)

日本史学科第六研究室

『看聞日記』現代語訳(4) 蘭部 寿樹

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54

Tel024-534-9193 2002年創刊 www.history-archives.fks.ed.jp

**♦43** 2015.10 A4 4p

安政江戸大地震と『安政見聞誌』

『安政見聞誌』下巻 (佐藤健一家

文書125) 渡邉 智裕

霊山道路の発掘調査と近世文書 安田 稔 江戸後期の湯野温泉 小野孝太郎

「刈田郡湯原村ノ内引渡書」と200

年に亘る隣村間軋轢 小野孝太郎

「海川漁図説付略図類集」にみる

明治期浜通りの漁業 渡邉 智裕

地方鉄道敷設の記録 佐々木慎一 |

◆フークトーブ通信 フークトーブ通信社 〒961-0856福島県白河市新白河1-126 ロイヤルガーデン弐番館201 山田英明方 2015年創刊

**♦4** 2015.11 A4 2p 土津神社の斗南への遷宮

弘法山古墳群(矢吹町)

小桧山六郎

フークトーブ紀行(4)

和田 伸哉

## 関 東

◆茨城の民俗 茨城民俗学会 〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16 今瀬文也方 TELO29-231-4665 年3000円 1963年創刊 http://www.minzoku.net **♦ 54** 2015.11 B5 70p 《特集 台所、この美しい場所》 浪漫ただようダイドコロ 今瀬 文也 生活の中の台所周辺と近代化 飯村 台所から考えた日本の文化、社会

清水 亨桐

思い出のなかの台所

松崎健一郎

の成立と変遷

近江 礼子

藝都の里に神子御前の宮を祀った

つくば市の新四国霊場「羽成大師」

優しき里人 戸嶋 禮助 三人の占い師 菊池 敏明 研究ノート

1 ケアハウスでお茶会  $(F \cdot I)$ 

2 焼失した羽生家住宅  $(F \cdot I)$ 

3 有賀神社の大洗磯前神社への

 $(F \cdot I)$ 

◆近代史料研究 日本近代史研究会 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学歷史人類学系 中野目研究室内 Tel029-853-4066 2001年創刊

**♦15** 2015.10 A5 97p 戦前期の内閣における「未済」閣 議書一国立公文書館所蔵「未済 書類」の分析を中心として

中野目徹/田中友香理

高山樗牛と雑誌『太陽』一博文館

関係史料の検討を通して 長尾 宗典 昭和二十年代秋田県における行政

委員会と事務局体制(上) 柴田 知彰

第一次世界大戦後の外務省におけ る対満洲関税政策―第一次幣原

外交最初期の対英協調策 能本 中雄

◆飛耳長目 長久保赤水顕彰会会報 〒318-0103茨城県高萩市大能341 佐川春久方 年3000円 **◇27** 2015.10 A4 4p 平成27年度長久保赤水顕彰会の定 期総会 長久保赤水先生のお墓の整備終了 /吉田松陰が歩いた足跡とを辿

◆水戸史学 水戸史学会

る会

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42 但野正広方 TELO29-243-6910 1974年創刊 **♦83** 2015.11 A5 96p 大戦後七十年の回顧と所感 市村 真一 最後の史臣・清水正健の生涯とそ

の学問 渡邉 拓也 安積澹泊「検閲議」と藤田幽谷 梶山 孝夫 『大日本紀』本紀の参考文献(神武

天皇本紀より持統天皇本紀) 堀井 淳二 回天の礎-東湖先生の志を承けて

名越 時正

一庵先生詩伝(2) 名越 漠然 新刊紹介 但野正弘『水戸学逍遥』、 宮田正彦『水戸学の復興―幽谷

・東湖そして烈公一』、仲田昭

一『吉田松陰と水戸』 梶山 孝夫

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報 〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313 年4000円 1991年創刊 **♦97** 2015.10 A4 4p 《特集 大会報告 関ヶ原の戦いと中近世移行期の下野》 本多降成氏記念講演会「関ヶ原の 戦いと「小山評定」 を聞いて 重藤 智彬 佐々木倫朗氏報告「天正十年にお

ける『惣無事』|を聞いて 佐々木 茂 荒川善夫氏報告「戦国期下野の村

落と土豪 | を聞いて 月井 山澤報告「宇都宮の「近世都市」

史料紹介 正徳五年五月二十五日 付 「取替証文之事」(栃木県立

博物館蔵「越名村名主文書」) 木村真理子

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会 〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-221-2346 1993年創刊

**♦45** 2015.10 AB 36p 《中之条町旧六合村‧草津町地域特集》 歴史を掘る 岩櫃山鷹の巣岩陰遺

跡出土の土器 高橋 政充 第七十回草津温泉感謝祭に想う 中澤 敬 発掘情報 草津町白根山湯釜出土

の柿経をめぐって 藤巻 幸男

図録 ぐんまの文化財 草津に花 開いた温泉・湯治文化 草津町

の文化財とその周辺 中沢 孝之

ぐんまの歴史入門講座

第165講 熊倉遺跡調査とその後

の研究

第166講 西吾妻の要害・大戸城

第167講

と鎌原城

硫黄採掘と草津地域の開発 須賀 昌五 第168講

藤巻 幸男

唐澤 定市

草津軽便鉄道と草津観光 水出 一三 第169講 草津町・旧六合村の石 告文化財 石造文化財の見方

(34)秋池 武

古文書解読入門講座(32)一古文書 から歴史を読む 山田川橋の普

富澤 政美

地域づくりと文化遺産 赤岩伝建

地区の伝統と取り組み 山本 伸一

ぐんまのくらしと民俗 豊かな自 然の中で育まれてきた六合の生

山本 茂

ぐんまの地方豪族

温泉の領主湯本氏 久保田順一

ぐんまの川と生活

酸性の川を中和する 中村 倫司 ぐんまの人物誌 コンウォール・

リー女史について 荻原 利彦

ぐんまの郷十芸能

民謡「草津節| 黒岩 正雄 ぐんまの地名 旧六合村の地名 中沢 孝之

研究・学習サークル活動紹介 草津町文化団体協議会 浅香 勝

出版情報 地域の刊行物紹介

ぐんまの自然と風土 野反の野鳥

関 邦一

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1 Tel027-223-2785 年4500円 1973年創刊 www16.plala.or.jp/kuzira226/

**♦241** 2015.10 A5 56p

上州沼田にある真田の里を歩く 中島 靖浩 満蒙開拓(昭和15年春)一登丸寿子

と清水圭太郎と東宮鐵男 東宮 春生 山崎一『群馬県城館址調査の手引

き』(11) 茂木渉・翻刻/飯森康広・割付わが町の文化財散歩(4) 一「三河万

歳」の一枚の写真から 岡田 昭二 防府の歴史散歩 井野 修二 備中松山城を訪ねる

一日本三大山城 富所洋一郎 支部だより

藤岡支部(第80回歴史散歩) 多摩丘陵・武蔵野台地の名社寺

輿水 泉

渋川子持支部

足尾銅山と日東東照宮 新井 敏夫 歴史散歩の報告(事務局企画) 琵 琶湖北・東岸と竹生島一中世 戦国期の近江. 山崎 正

#### ◆昔風と当世風 古々路の会

〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410 津山正幹方 Tel048-976-9387 1973年創刊 ◇100 2015.12 B5 226p 《第100号記念号》

100号記念

フィールドからの民具論―古々

路の会で学んだもの 五十嵐 稔 さらなる筆まめのすすめ 長野 晃子 「古々路の会」に魅せられて 森 隆男 文献研究 渡辺渉園作「秩父日

記」を巡る一考察 2011年3月11日

晴れ一福島県いわき市薄磯 坂本 武一 合同調査一覧 古々路の会 『昔風と當世風』全号目次 古々路の会 100号の歩み

牧野民俗誌一神奈川県藤野町 小林 梅次

郷関問答(六)

 一盆の供養踊りと口説き
 田中 斉

 産育習俗―新潟県佐渡・両津市
 新堀 八重

大川地区と羽一生地区 新堀 八重 奄美三島探訪記 早瀬 哲恒 女だもの、小豆のひとつもちょ

さねばない 小林 幹子 福子思想・その他 芝 正夫 郷関問答一南会津のムカシ 田中 斉 《新潟県柏崎市高柳町合同調査特集》 柏崎市高柳町門出・石黒地区の調

査を終えて 北河 直子 若者の力を村の活力に変えて一新

潟県柏崎市高柳町調査報告 中村 知子 高柳町門出の歳時記 村山 翠 ドウとトキ、そして佐渡 佐藤 和彦 高柳町門出の魅力 鈴木 英恵 高柳を訪れて、思い出したこと 西尾 嘉美 保存食について考えたこと 表 佳椰子 高柳町の食ーお正月のゴッツォを

中心に 増田 桃子 夏に見た雪国のすがた一二人の女

性それぞれのくらしを通して 茶谷まりえ ムラの雑貨屋「江戸端商店」 鈴木 秋彦 昭和初期の新潟県高柳町の食から

丸山 久子

じょんのび村から栃ケ原を経て門

出に至る 下境 芳典 門出における用水路と水の利用 谷川 隼也 高柳での家の住まい方、建て方 梅垣 雅衣 池に囲まれた家と茅葺の家を訪れ

て 林 奈菜子 門出の民家と景観―民家の告りと

営みに水の暮らしを考える 白井 正子 高柳町の中門告りの民家

一新潟県柏崎市高柳町 津山 正幹 ハレの日の出入り口・ガンギ

森隆男/椿原佳恵/出口絵莉子

高柳から柏崎産婆学校へ 早川美奈子 新潟県柏崎市高柳町

一柏崎産婆学校の卒業生 むらき数子 門出地区の神社と石仏など 金田 文男 寄角力のことなど 関 廣好 刈羽黒姫山と奴奈川姫伝承 鶴巻 武則 高柳町門出の杜氏 北河 直子

高柳町門出での聞書きと戦後七〇 年 佐志原圭子 "じょんのびの里"見聞記―柏崎市 高柳町門出・石黒の民具 五十嵐 稔 民俗学と研究会活動(1) 民俗学

今野 大輔

#### ◆我孫子市史研究センター会報

前史・人類学会と土俗会

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TelO4-7149-6404 www.geocities.ip/abikosisiken/

◇**164** (通471) 2015.10 A4 16p 史跡見学会 栄一の忠恕 (まごこ

ろと思いやり)と気骨に感動 荒井 茂男 歴史探訪部会 10月の活動 長谷川秀也

お薦め 安藤義雄著『語り伝える 江戸から今へ』(足立区郷土史

料刊行会) 柴田 弘武

歴史探訪部会9月の活動報告 「市 民活動メッセ・フォーラム」に

参加して 飯白和子/関口一郎

第1回「我孫子のこれからフォー ラム」"まち歩きで我孫子の魅

力 再発見~「久寺家城跡周辺

を歩く」を歩く" 飯白 和子 我孫子の社寺を訪ねる(13) 柴崎

地区(2) 東源寺/我孫子の社寺

を訪ねる(14) 柴崎地区(3) 円

福寺 土井玲子/長谷川秀也

合同部会 9月10月の活動 中澤 雅夫 古文書火曜部会10月の活動 岡田 淳子 井上家文書研究部会10月の活動報

告 長谷川 一 寺田和雄さんの急逝を惜しむ 古内 和巳 『我孫子の地名と歴史―わが町の

関口 一郎

◇165 (通472) 2015.11 A4 16p

字誌(あざし) | 執筆者全体会議

〈新 古文書初心者講座〉開催 東 日出夫 歴史探訪部会11月探訪

府中・武蔵国府を訪ねる 茂木 勝己 我孫子の社寺を訪ねる(15)

岡発戸 白泉寺・八幡神社 金成 典知 合同部会11月の活動 中澤 雅夫 歴史部会研究講座「古代交通の視

点から我孫子古代史の魅力を探

る」(星野征朗氏)を聴講して 中川 健一 歴史部会10月の活動報告 飯白 和子 歴史探訪部会11月の活動 長谷川秀也 古文書火曜部会11月の活動 河井 弘泰 字誌の執筆で考えたこと 山崎 章藏

歴史講演会 「相馬文書の中世ー 中世の相馬、柏の中世ー」を聞

いて 白神 正光

**◇166** (通473) 2015.12 A4 16p

新年のごあいさつ 柴田 弘武

歴史講演会 『我孫子の地名と歴 史一わが町の字誌』刊行記念 「地名のなりたち一地図でたど

る大字・小字」 講師:今尾恵 介氏

創立40周年記念式典・祝賀会、盛

大に挙行 荒井 茂男

我孫子の社寺を訪ねる(16)

都部地区(1) 近江 礼子

合同部会12月の活動

歴史部会12月の活動報告 飯白 和子

井上家文書研究部会12月の活動報

品田 制子

「ふさ」地名異聞 柴田 弘武 『史談八千代』創刊の思い出 村田 一男 特集 第40号記念特別研究 柴田弘武会長執筆「我孫子の地名」 を読んで 関口 一郎 吉橋村貞福寺 吉橋村貞福寺縁起 青田 博之 吉橋村貞福寺 貞福寺の年表 村田 一男 ◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報 〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6 特集 旧吉橋村の総合研究そのⅡ 野村忠男方 TELO43-487-1033 「旧吉橋村総合研究」まとめ 牧野 光男 年2000円 2012年創刊 吉橋村内の吉橋大師講札所につ **♦11** 2015.10 A4 10p いて 菅野 貞男 地名に学ぶ(10) 道場作 野村 忠男 尾崎大師堂の天井画の考察 岩富城主北条氏勝とその系譜抄 掛川 健治 小林詔三/畠山降/ 消えた城 中村 寛之 牧野光男/鈴木康彦 平成27年度「第29回総会」開催さ 吉橋の石造物 吉橋の出羽三山信仰の石浩物 れる/新会員の紹介 多輪免喜第七号 弥富地区 発刊 蕨 由美 成る 吉橋の月待塔と女人講および コラム 林性寺の謎 子供主体の石造物 宮武 孝吉 藤 由美 日和山と湊 塔ケ崎忠勝 訂正 吉橋高本の万治三年庚 里山の畔田を歩く 臼井部会 瀬田 華貴 申塔銘文と記事 蕨 由美 吉橋(花輪・尾崎)の道標と寺社 ◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会 調查 村杉スミ子 〒276-0046千葉県八千代市大和田新田452-吉橋の小さなカミさま 20 鈴木康彦方 TELO47-459-2506 はじめに 田中 巖 菅原 賢男 年3000円 1976年創刊 浅間神社 **♦40** 2015.11 B5 141p 古峯神社 山口 忠 《第40号発刊記念》 大杉神社 田中 巖 第40号記念関連記事 吉橋の民俗行事 会長挨拶 『史談八千代』の40年 尾崎の御毘沙と二つの不思議 に想う 牧野 光男 鈴木 康彦 祝辞 守り継がれている尾崎の大杉 囃子 鈴木 康彦 『史談八千代』第40号の刊行 を記念して 秋葉 就一 花輪の鷲宮オビシャ 村田 一男 『史談八千代』第40号の発刊 花輪の信仰行事「天道念仏」蕨 由美 を記念して 尾崎公会堂・大師堂・薬師堂の 加賀谷 孝 『中談八千代』40号 おめで 所蔵品調査 畠山 隆 とうございます 萩原 法子 古代製鉄実験の実施と安蘇史談 会との交流報告 『史談八千代』40号発刊に寄 田中 巖 笹野 美枝 │ 特集 『史談八千代』第40号記念

寸言集 「大関ヶ原展 | の古文書 青田 博力 40年にわたる地域歴史調査を称 える 阿河 要 幼稚園経営40年 石井 尚子 入会のご挨拶として 大塚 裕介 花見川開削工事跡は私の散歩コ ース 奥山 智 消えた下総御料場を担う 鏑木 行庸 『史談八千代』との最初の出会い 菅野 貞男 小林 詔三 歴史研に入会して3年 「10年日記 | について 斎藤 惇 今日の日を大切に!! 齊藤 正一 万葉考 千葉の野の児手柏の含 まれど… 才藤 文子 スマートフォンを持って歩くゲ 清水 正子 八千代に住んでもう29年 正田富美恵 地名考 菅原 賢男 歴史研究会に入会して 杉川 智基 八千代の歴中遺産 鈴木 康彦 通説をくつがえす可能性がある 郷十中研究 田中 巖 入会から10年を振り返って 田宮 達夫 千脇治郎右衛門との出会い 長兼 史郎 八千代市郷土歴史研究会と共に 中島 和子 駒形神社について 成田 忠志 こんな本があれば良いな 羽計 一宏 小柴重稷(小次郎)殉節の始末 畠山 隆 原点に帰りたい 平塚 胖 絵双六 牧野 光男 もうちょっと待っててくれるか なぁ? 三橋 傍一 道後温泉で見つけました 宮井 雄二 札所めぐり 村杉スミ子 道標復元に貢献

一地域研究の成果 村田 一男 空海に学ぶ「曼荼羅」と『虚往 実帰 | 山口 忠 吉田功次郎 今回入会のきっかけ 微に宿るモノが語りはじめると 蕨 由美 ◆紙魚之友 房総史料調杳会 〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大 学文学部日本史学研究室 1985年創刊 **♦35** 2015.10 B5 6p 調查報告 旭市椎名内 千本松稔家文書 小田 真裕 史料調查参加記一第三次旭市椎名 内千本松稔家文書他調查 鈴木三美子 ◆千葉史学 千葉歴史学会 〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉 大学文学部内 1至043-251-1111 年4000円 1982年創刊 chibareki.blog.fc2.com ♦ 67 2015.11 A5 110p 巻頭随想 美術に見る戦争と日常 一浜田知明の作品に触れて 池田 忍 歷中随想 押絵師 四代勝文斎 一人形町の名物男 岩田明日香 『千葉県議会史』あとがき余聞 三浦 茂一 成田英漢義塾初代塾長 宮村三 矢嶋 毅之 大会講演 藤原仲麻呂息・徳一と 藤原氏の東国留住 保立 道久 研究ノート 近世後期東上総にお

郡臼井郷を中心に 高橋 伸拓

ける酒の流通と小売酒屋―夷隅

書評

代〉 家業経営のエスノグラフ

ィー 加藤 敬太 新刊紹介

高橋修編著『中世関東武士の研

究 第一六巻 常陸平氏 石橋 一展 柏歴史クラブ代表上山和雄編

『柏にあった陸軍飛行場』 中村 政弘 参加記

千葉歴史・自然資料救済ネット ワーク 第6回勉強会「古文 書修補を学ぶ③ に参加して

斉藤智喜/藤野紗江

「全国史料ネット研究交流集会」

に参加して

新田裕二郎

## 見学会

県内博物館(資料館)の「戦後七

○年 | 企画展を見学して 中村 政弘 国立歷史民俗博物館企画展示

「ドイツと日本を結ぶもの一

日独修好一五○年の歴史─」

を見学して 古畑 侑亮

#### ◆房総石造文化財研究会会報

〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3 石田年子方 Tel04-7196-3375 年3000円 1980年創刊

**♦127** 2015.10 B5 16p

木更津の石造物(9)

庚申塔を建てる 稲木 章宏 千葉県の鯨供養塔 中森 勝之

常総市の洪水と寛永の石仏

車地蔵の修復について 藤平 俊雄

初秋の石仏探訪―利根川べりの石

大木 英雄 造物を訪ねて 特別寄稿 矢向弥五郎の力石 高島 恒助 資料紹介

多摩石仏の会『野仏』46号

#### ◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021松戸市小金原7-10-20 松田孝史方 1至047-342-1764 年5000円 1961年創刊 www.matsudoshidankai.net

**♦ 55** 2015.11 B5 94p

55号に思う 伊藤 純一

明治新政府の財政基盤確立のため

の地租改正一千葉県松戸地域で

松田 孝史

内中澄江氏所蔵『K.ABE 氏の手 記』を読む 遂われ行く人々一

一日本人捕虜の収容所生活の日

棚井 行雄

花輪 茂道 『松龍寺記』訓読

松戸市内の戦争遺跡を歩く(5) 田嶋 昌治 私が出合った最後の老・工兵(90歳)

最終回 松戸「陸軍·工兵学校|

最後の証言(3) 「決死の葛飾橋

爆破演習 |・上官決起の呼びかけ

佐藤敬一郎

古木 均 私の戦後70年雑感

武具の歴史と甲冑の意義―松戸ま

つりと手作り甲冑行列 國定美津子 「松戸宿の家並」調査にあたって

--昭和12年の渡邊幸三郎著の

「昭和の松戸誌」に学ぶ 村上雄一郎 会員のひろば

快挙!夏の甲子園初出場

「専大松戸」が果たした功績 勝部 建一 古希迎え先祖と武将を廻るたび

岡 降雄

松戸史談会に入会して 関 幸夫 発見・学ぶ

- 歴史散歩に参加して 瀧川 敦子 「中談会・歴中散歩」に参加して

佐藤 智子

松戸史談トピックス

戦後70年夏! 県松高生平和劇

「卒業」を公演

奈良再訪 小野塚利雄

木簡出土 編集委員

第66回松戸市文化祭参加(文化講 演)要旨 「坂川の流路と改修の

歴史上 相原 正義

第66回松戸市文化祭開催風景

文化講演と伝統芸能 編集委員

松戸市談会総会講演会(要旨)

「松戸市の観光について」 杉浦 孝夫 松戸市民参加の勉強会(パートナ

- 講座)「発掘調査の事例から」

千葉 寛

松戸市談会会員勉強会「小金牧夢

物語 川上 道久

松戸史談会年間活動記録と参加人

編集委員

名馬池月と高塚八幡神社 編集委員

追悼 元史談会会長・相談役

末満宗治様 松田 孝史

神尾相談役と短信

塩尻 英児

#### ◆あしなか 山村民俗の会

〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17 サトービル Tm.O3-5663-6748 年5000円 1939年創刊 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/ **♦304** 2015.10 B5 26p 表紙解説

「蚕の神様 | 真影(丹波美山町) 編 集 室 京の富士垢離場について

一西国における富士信仰 小山 一成 奥武蔵水源の峠道(1)

一入間川水系を行く・後編 飯野 頼治 伊豆大神と伊豆ヶ岳一奥武蔵畑井

・浅見孝三郎翁聞書き その1 岡倉 捷郎 山里だより(23)

蚕の神様―丹波美山町 西浦 左門 旅の草ぐさ(18) 浅野さんと武田

勝部 建一 | 久吉先生―浅野明さんを偲んで

小海 敏雄

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5

Tel03-5603-1861 1993年創刊

www.hblri.org

**◇108** (41-3) 2015.2 A5 100p 1000円

《特集 沖縄の構造的差別と辺野古問題》

特集にあたって 講 演

街角で辺野古を訴える一名護出

身で、東京に住む私の出来る

青木 初子

哀し愛さぬわしたウチナーの

"ある"風景 外間三枝子

報告&討論 第5回差別研究会より

第1部 報告 戦後の沖縄におけ

る琉球・沖縄独立論と沖縄差

鐘ヶ江晴彦

第2部 質疑と討論

鐘ヶ江報告&質疑・討論にかか

わる資料

《特集 人権教育》

映画『標的の村』を観て 山本 裕子 **◇111** (42-1) 2015.7 A5 92p 1000円

座談会 信州発!そのあとに続く

全ての世代のために一全人教長

野大会の成功に向けて

江村智晴/浅井誠/小林妃都美/

島田一生/宮川綾/松浦利貞(司会)

第29回研究·交流集会教育分科会

教育部会

自分の部落と出会い直して、大切

なものを伝えたい 海野 敦彦

東日本部落解放研究所第30回総会

記念講演 人間が差別・抑圧か

ら自由になるということ 楠原 彰

古文書を楽しむ(8)

古文書を読む会

#### ◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 TELO3-3620-9393 1996年創刊 www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/chiikibunka/hakubutsukan/

◇69 2015.10 A4 4p 見えてきた豊穣な美術と文芸の世 界一文化遺産調査最前線 文化 遺産調査特別展

出張博物館 千住酒合戦&歴史大 全パネル展/足立の文化財紹介 足立区登録有形民俗文化財 百 躰庚申塔 一基

郷土博物館名品紹介(2点) 歌川 国貞(三代豊国) 扇屋内花扇、 鈴木春信 風流人倫見立八景む すめのせいせう

特別展「スイーツランド・あだち 一東京東部のお菓子づくり一」

#### ◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TELO3-3620-9393

◇572 2015.10 A4 4p ごぞんじですか動物ヨーチ 特別 展「スイーツランド・あだちー 東京東部のお菓子づくりー」より

北千住駅の今昔 佐藤 貴浩
おでかけ下さい 地元の古代(4)
伊興遺跡公園展示館 古代人の
ファッション点検 増田 静香
千住酒合戦から二〇〇年 デザイ
ンアイデア合戦とパネル展 郷土博物館
ここで見て足立の博物館資料 と

ちぎ蔵の街美術館に郷土博物館 の歌麿が出張中

◇573 2015.11 A4 4p 洋画家・石井柏亭と足立の近代美

術 小池 優

特別展「スイーツランドあだち」

より 機械化以前の菓子づくり

の道具 飴の切断機(球断機) 荻原ちとせ 須賀家旧蔵 奉納算額について 奥村麻由美 資料紹介

千住警衛と天狗党の乱① 多田 文夫 お知らせ 酒合戦再現!

**♦ 574** 2015.12 A4 4p

「デザインアイデア合戦」大賞決

まる/千住酒合戦とは!? 郷土博物館 資料紹介

千住警衛と天狗党の乱(2) 多田 文夫 足立にあった牧場 佐藤 貴浩 ここで見て足立の博物館資料 小説を彩る郷土博物館の浮世絵

おでかけ下さい 地元の古代(5) 伊興遺跡公園展示館 古代の住 宅事情・竪穴住居

足立区地域文化課文化財係

#### ◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TELO3-3620-9393

◇331 2015.10 A4 8p 上野公園内にある文化財 独自の戦後教育改革意見 日本側 教育家委員会教育改革作成案(7)

堀川 和夫

足立区の文化財 平成2年版「足 立区の文化財」による 記念物 (史跡) 伊興遺跡、甲良屋敷跡、 千住名倉医院 足立史談カルタ み「見沼代用水で米づくり」 九月史談大学 一葉さんと記念写 真/考古学発祥の地と馬込文士 村を歩く

学童疎開展・二題 野沢温泉村から届いた資料/渡名喜先生と梅

島国民学校

矢沢幸一朗

◇332 2015.11 A4 8p独自の戦後教育改革意見 日本側 教育家委員会教育改革作成案(8)

堀川 和夫

足立区の文化財 平成2年版「足 立区の文化財」による 記念物 (史跡) 千住宿本陣跡、千住宿 問屋場及び貫目改所跡、新井学 校跡

区民まつり

受贈誌紹介 「我孫子の地名と歴 史」一わが町の字誌(あざし)/ 伊勢屋質店公開 11月から 信穂会誌から 西新井国民学校

章 に 京都会 は 学童集団 疎開のもよう 磯野重 郎記

磯野重郎先生を悼む 前沢 正信◇333 2015.12 A4 8p独自の戦後教育改革意見 日本側 教育家委員会教育改革作成案(9)

堀川 和夫

(矢沢)

保存樹散歩 保存樹が見てきた町 の歴史 国土安穏寺(島根四丁 目)・スダジイ

史談カルタ

「し」鹿浜に残る獅子舞

一葉がつなぐ交流 困窮支えた質店来月から公開(東京新聞 2015年10月29日)/雨の新宿御苑・観菊会

杉山和一の紹介について 日本の

鍼、管鍼(くだはり)の発明者杉 山和一 杉山検校遺徳顕彰会顧 問 医学博士 長尾榮一(杉山 検校遺徳顕彰会・「杉山和一生 誕四○○年記念誌」平成22年5 月刊から)

教養講座 12月6日

参加者の俳句「俳句と私」

付録「谷文晁らの絵 足立から 100点 民家などで見つかる」 讀賣新聞 2015.12.8/炎天寺一 茶まつり区内児童生徒の秀逸句

#### ◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 TELO3-5398-2682 1966年創刊 www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/

**♦ 286** 2015.11 B5 27p

特集 あの頃の学校生活

戦時下の在外学校の生活(小学

校編) 大井 眸

小学校時代の楽しい思い出(1)

一昭和初期 長野県佐久 泉 貞代

徳丸たんぽ(徳丸が原)で小学生

のイナゴ捕り一昭和25年(19

50年)前後 石田 太郎

山梨から新宿の洋裁学院へ通学

の頃一戦後混乱期の追憶 松澤 歌子 ひろば

赤塚郷・再論一新資料速報 大井 眸 代々木の森と声之介さん 泉 貞代

「轡神社奉納の馬わらじ」 井上 富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

表紙写真撮影者コメント

〒350-1301埼玉県狭山市青柳63 新佐山ハイツ4-504 藤本一美方

**♦405** 2015.10 B5 25p

埼玉県立図書館2館体制に 藤本 一美会執筆昭文社版『奥武蔵・秩父』 の大改訂に向けて 藤本 一美 岡野恵二さんと石尊様 町田 尚夫

峠の残照 一奥武蔵高原とその周辺(3) 小泉 重光 奥武蔵・秩父の獅子舞(59)

一毛呂山、大類十社神社 関口 洋介◇406 2015.11 B5 25p山岳トレイルランニング(トレイ

ルラン)規制 藤本 一美 峠の残照―奥武蔵高原・飯盛山・ 旧正丸峠周辺をめぐって 小泉 重光氏の論考 会報403・404・

 405号から
 藤本 一美

 奥武蔵の二大宝篋印塔
 町田 尚夫

 高山不動と黒山三滝
 小泉 重光

 奥武蔵・秩父の獅子舞(60)

一笛泣かせ、下唐子の舞 関口 洋介

#### ◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 1m03-3907-0040 1986年創刊 **◇118** 2015.11 B5 10p 懐かしき昭和30年代

-遠い記憶を辿りながら 山田美登里 第393回 月例研究会

北条時政と豊島氏 伊藤 一美

シンポジウム "語り継ぐ"北区の水害" 馬場 永子

第394回 月例研究会 製麻余話 有馬 純雄

 ◆城郭だより 日本城郭史学会会報 〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局 私書箱50号 Tel03-3967-1948 1993年創刊
 ◇91 2015.10 A4 6p
 弘前城御三階櫓が曳屋移動一通称

16

「天守」を石垣修築で移動 壬生城本丸御殿模型が完成 最近の各地の城郭ニュースから/ 最近の注目される城郭関係図書 から

#### ◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊 www.sugi-chiiki.com/rekishikai/ ◇254 2015.11 A4 8p 400円 オリンピックの話題 新村 康紅第528回例会記

羅漢さんと出会う目黒の花見 服部 建人 「馬橋盆踊り」 編 集 部 第531回例会記 天狗の社古峯神 社から石の町大谷、蔵の街栃木

を訪ねる服部 建人光明院出土の一石五輪塔手塚 美穂

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会 〒111-0042台東区寿2-9-9 北村国男方 ™03-3844-2008 1987年創刊 ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

**♦58** 2015.10 A4 20p

はじめに 宝の持ち腐れ 渡辺 早苗 平成27年度 隅田川市民交流実行

 委員会 総会報告
 篠田 裕

 平成26年度 事業報告

総会記念講演

築地市場一過去・現代・未来 森本 博行 隅田川大学実践俳句講座 I 両 国から清澄庭園まで左岸を歩く

岡部 恒雄

『東京浅草スケッチ展』~大黒家別

館ホールでの開催に想う 猪狩 達夫 東京浅草スケッチ展に出品して 平田 拓也 隅田川大学公開講座 講演会 「隅田川の芸能」~落語「船徳」 橘家玉蔵師匠 岡部 恒雄 「第37回隅田川おどり納涼大会」 参加報告 篠田 裕 第10回記念 隅田川クリーン大作 戦 報告 篠田 裕 平成27年度の今後の活動予定 隅田川大学公開講座 フィールド ワーク(FW)31 『多摩川河川 敷散策と野草摘み』~イタドリ 採り報告 案内・篠田裕/文責・鈴木俊一 交流コーナー

紫川を愛する会「武良前 むら さき通信」第120号、2015年5 月号/第121号、2015年8月号

衛藤 修一

2016奥四万十博の開催に向けて / 東京四万十会総会・懇親会 「東京隅田川ユースホステル」リニューアルオープンしました。

権 郁太郎 「真実は如何に」 蕨 清之 佐藤武レポート(1) 花川戸ワン ドの池をヘドロで滅ぼすな 佐藤 武 佐藤武レポート(2) 「花川戸ワン ドの池の水面が青くなる」のは、 捨てられた乾電池が原因か? 佐藤 武

## ◆すみだ郷土文化資料館年報・研究紀要 〒131-0033東京都墨田区向島2-3-5

TELO3-5619-7034 1998年創刊
www.city.sumidalgjp/sisetu\_info/siryou/kyoudobunka/
◇1 2015.3 A4 39+73p
〈年報 資料館の歩み〉
〈研究紀要 特集「シリーズ 探訪向島」〉
江戸時代前期の向島地域 福澤 徹三
向島の富士講信仰一山玉向嶋講社
にかんする覚書 中山 学

史料翻刻

「本所 川浚・道造・下水埋樋 御普請根元記 壱」 福澤 徹三 「隅田川木母寺由来」

古文書講座第二部・福澤徹三 アンケート"向島はどこですか?"

結果報告 高塚 明恵

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1 大島方 年2000円 1957年創刊 www11.ocn.ne.jp/~oinari/

**◇233** 2015.12 B5 31p

富山県魚津市古鹿熊の鳥猟 森 俊 宗徳寺の粟島堂 大島 建彦

戦後の注染業の変遷と出稼ぎ職人

- 新潟県十日町市旧松代町の染

屋出稼ぎを事例に渡部鮎美嫉妬する山の神榎本直樹中国山東省青島市黄島区の伝説川添裕希出征兵士の謎めいたお守り加藤良治岐阜の天狗像高橋成

#### ◆全日本郷土芸能協会会報

〒106-0032東京都港区六本木4-3-6 三河台ハイツ206 『ELO3-6434-9434 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

**⊘81** 2015.10 A4 24p

千本木龍頭神舞 群馬県伊勢崎市 県指定無形民俗文化財

平成27年度文化庁「変容の危機に ある無形の民俗文化財の記録作 成の推進事業」における「命婦 の舞」、「万才」調査報告書作成 業務

第57回平成27年度 ブロック別民 俗芸能大会/「第64回全国青年 大会郷土芸能の部 | /第64回全

国民俗芸能大会「北から南から」 東日本大震災・郷土芸能復興支援 プロジェクト

新豊田市誕生10周年記念事業 第 26回全国地芝居サミット・イン・とよた

地芝居探訪(56) 彦五郎祭公演/ 大桃の舞台公演/戸沢花湖蝶歌 舞伎/山入歌舞伎/黒沢尻歌舞 伎

#### 地芝居見聞(19)

土佐絵金歌舞伎と絵金屛風 北河 直子 地芝居あれこれ(20)

田舎に移住する若者と地芝居 蒲池 卓巳 会員紹介

葛畑農村歌舞伎伝承会 西村 武 一般社団法人 義太夫協会 波多 一索 比婆荒神神楽 子ども神楽塾 横山 邦和 南下幅念仏剣舞保存会 高橋孝/村上厚志 地芝居公演情報 10月下旬~12月 民俗楽器(58) 台湾の人形博物館

山本 宏子

空白の沖縄芸能史(10)

嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会 〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101 光田憲雄 1m03-3307-2146 www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/ ◇284 2015.10 A4 2p 100円 浮世十二支(2) 竹午/人めを未 /いら申/籠の酉/めでた亥 江戸の生業 石見銀山ねずみ取り /わいわい天王/すたすた坊主 ◇285 2015.11 A4 3p 100円 浪花節の中に残る大道芸 「ちょんがれ」と「ちょぼくれ」 ◇286 2015.12 A4 2p 100円 曲独楽

早竹虎吉の曲芸

#### ◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1 梶原方 1991年創刊 tamatiken.web.fc2.com

**♦117** 2015.11 B5 6p

第88回例会報告 多摩地域史研究 会第88回例会 「五日市鉄道大 久野線(支線)廃線沿いを歩く一

五日市鉄道と西多摩」参加記 三村 章 地域史情報室 パルテノン多摩歴

史ミュージアム 定点撮影プロジェクト写真展 多摩ニュータウンの移り変わり/大田区立郷土博物館特別展 まちがやって来た一大正・昭和 大田区のまちづくり一

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団 〒186-8686東京都国立市中1-9-52 ™ 181042-574-1360 年600円 1975年創刊 www.tamashin.or.jp

◇160 2015.11 A5 274p 《特集 多摩地域の文化財》

ごあいさつ

八木 敏郎

総論 地域における文化財保護の 意義と課題―地域主権・市民協 働・文化財享有権を視野に入れ

馬場 憲一

## て 北多摩

立川市 立川市内の文化財 武蔵野市 武蔵野市の文化財と 中島飛行機 府中市 武蔵府中の古代文化遺 産とその魅力

昭島市 青年団が潰した道標

調布市 近年の文化財調査から 小金井市 国指定史跡玉川上水 と名勝小金井(サクラ)の保護 と活用

小平市 小平市鈴木遺跡 東村山市 東村山市内の文化財 国分寺市

武蔵国分寺をめぐる文化財 国立市

くにたちの文化財をめぐる 狛江市

小さな市の貴重な文化財 東大和市 東大和市の戦災建造 物一旧日立航空機立川工場変 電所

清瀬市 野塩西原遺跡周辺地点 の発掘調査

東久留米市 湧き水とともに歴 史と文化財

武蔵村山市 武蔵村山市に残る 明治時代初期の文化財

#### 南多塺

八王子市 八王子市の文化財 日野市

日野市の最新埋蔵文化財 町田市 国史跡高ヶ坂石器時代 遺跡一日本初の敷石住居跡の 調査

稲城市

古代窯跡と江戸の里神楽 多摩市 多摩市を代表する市指 定文化財

#### 西多摩

青梅市

中世青梅の社寺と三田氏 福生市 福生市の文化財 羽村市 羽村市の文化財―「武 蔵野台地西部の養蚕関係用 具」を中心として

あきる野市 あるきたくなる街 あきる野市-のんびりあきる 野を歩いてみませんか

瑞穂町 町内青梅街道沿いにあ る文化財の紹介

奥多摩町 丹叟院阿弥陀堂と三 十四観音

日の出町 「日の出町歴史文化 基本構想」策定後の文化財ー 民俗文化財の保存と活用の可 能性

檜原村

東京の西端檜原村の文化財 洋風建築への誘い(49) 神の教会

伊藤 龍也

建物雑想記(44) 立川神の教会

一音風景を訪ねて

酒井 哲

多摩のみほとけ(23) 小平市 円

成院 木造薬師如来坐像 齊藤 経生 本の紹介

旧高田邸プロジェクト実行委員

会編『旧高田邸と国立大学町

85年の物語』 平林 正夫 渡辺彰子編『国立に誕生した大

学町一箱根土地㈱中島陟資料

情報 多摩の博物館だより

集一』

鈴木 文彦

## ◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403 多田統一方/〒352-0011埼玉県新座市野火 止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 tias3.web.fc2.com

**♦ 115** 2015.11 A4 6p

報告 上映会「足尾銅山 光と影」

馬場 永子

2016年度総会・研究大会の開催に

ついて

報告 講演会「リニア中央新幹線
の交通技術的な諸問題」 柚須 紘一新刊紹介 『東京カイシャハッケン伝ガイド』、『明治日本の産業 革命遺産』 多田 統一博物館シリーズ(23) 世界初の無 誘導ラムダロケット L-45 小野田良智 茨城県常総市の赤煉瓦建築物(4)

#### ◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31 吉越正博方 TeLO3-3996-4454 1956年創刊

◇358 2015.10 A4 4p 「豊島館・武蔵野館」と「見晴亭」

(2) 葛城 明彦

10月例会 紅葉の東上州史跡探訪 東京市養育院と彼のひとびと(後 篇15) 物集高量の「百歳は折

り返し点」 日向康三郎 10月例会 紅葉の東上州史跡探訪 コース/さきたま風土記の丘/ 満徳寺/長楽寺/東照宮/岩宿

遺跡

#### ◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係 〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-1 TELO3-5984-2442 1988年創刊

◆95 2015.10 A4 4p
東京文化財ウィーク2015
企画事業

公開している国指定・登録、都指 定の文化財 練馬白山神社の大 ケヤキ、三宝寺池沼沢植物群落、 牧野記念庭園、石神井城跡、小 野蘭山墓及び墓誌、池永道雲墓、 東高野山奥之院、丸山東遺跡方 形周溝墓出土品

◆みやこどり すみだ郷土文化資料館だより 〒131-0033東京都墨田区向島2-3-5 Im03-5619-7034 1998年創刊 www.city.sumidalg.jp/sisetu\_info/siryou/kyoudobunka/ ◇45 2015.8 A4 4p 企画展 東京大空襲と失われた命 の記録 田中 禎昭 ◇46 2015.10 A4 4p 企画展 教育紙芝居の誕生 髙塚 明恵 ◇47 2015.12 A4 4p

◆民具研究 日本民具学会

義士の手紙

特別展示 忠臣蔵の浮世絵と赤穂

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内 IELO45-481-5661 年5000円

福澤 徹三

ming-gakkai.com

◇152 2015.11 B5 158p特集 第39回日本民具学会高知大会:公開シンポジウム「民具で地域を再発見! 一集められた民具が語る歴史・文化・人一」

会長挨拶 佐野 賢治

開催趣旨 民具で地域を再発見!

一集められた民具が語る歴史・

文化・人一 梅野 光興

基調講演 民具の犂から見た大化

改新と四国 河野 通明

報告

香川県の唐箕の形態と墨書から

ルーツをさぐる 織野 英史

愛媛県の唐箕をデータベースで

しらべる一整理してみると宝

の山だった 広実 敏彦 徳島県旧木沢村のカラサオから

地域情報をよみとる 磯本 宏紀 高知県豊永郷のウシグワの時代

 変化をたどる
 梅野 光興

 コメント
 石垣 悟

質疑応答・討論

第39回日本民具学会高知大会

研究発表

『三原村および周辺地域民俗・ 言語地図』の解釈―「民具方 言呼称」の調査から見えてく

るもの橋尾 直和碁石茶製造民具の変容井上 賢一

北陸地方の箕作りとその流通・販

売 榎 美香

東日本大震災で被災した民俗文化 財の脱塩処理に関する一考察 日高 真吾 開放型実在説批判一王禎『農書』 唐箕絵図・漢代唐箕模型の解読

2) 内藤 大海

第143回日本民具学会研究会報告 作られる「標準呼称」一関東方 言を頭出しに選ぶ危険性 織野 英史 民具を同定する一形態と機能に

典型性を探れるか 神野 善治 出土木製品の復元実験 山田 昌久 書評 田辺悟著『民具学の歴史と

方法』 磯本 宏紀

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会 〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学演劇博物館内 〒103-3203-4141 年6000円 1985年創刊 ◇59 2015.9 A5 81+19p 学会創立30周年記念 特別寄稿 民俗芸能学会設立のこと 鳥越 文蔵 子供歌舞伎振付師の系譜からみえ る長浜曳山祭地芝居の傾向 浅野 久枝神楽祭文研究の方法について一岩 田勝・山本ひろ子の所説を中心

井上 降弘

俵木 悟

民俗芸能学会福島調査団報告

として

1月例会 懸田弘訓さんの場合 (福島調査団団長)

『民俗芸能学会福島調査団』事業

等の経緯 齊藤 裕嗣

特別企画 無形文化遺産特集

「護るべきもの」から学ぶべき こと一民俗芸能研究のフロン

ティアとしての無形文化遺産

書評 村﨑修二編著『愛猿奇縁

猿まわし復活の旅』 中村 茂子

民俗芸能研究文献目録

平成25年 伊藤純・松岡薫編

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内

Tel03-5228-1496 www.folkhouse.org

巻頭言 ドイツの集落と民家

-1978年の調査記録から 杉本 尚次

南イタリア・プーリア州コンヴェルサーノ市における都市組織と

建築類型の形成過程 稲益 祐太 大会発表研究論文

『木曽三川言語地図』の居住生 活語彙3項目―「地震が起こる (家が揺れる)|「正座する|

「あぐらをかく」の方言分布 鏡味 明克 熊野川流域の民家にみるアガリ

ヤ(避難小屋)について

千森督子・堤涼子

宮城県本吉地方の民家における

柱間寸法 菊地 憲夫 京都市伏見区における路傍祠の

分布と地域住民によるひの管

理 佐藤 弘隆

一般論文 太宰府天満宮の新出の

絵図と神仏分離 佐藤 正彦

2015年度大会見学会報告 吾野宿

と飯能の民家 岸本章・大平茂男・杉原バ

ーバラ・堤涼子・中村麻子

民俗建築アーカイブ(8) 薬師寺

三重塔の屋根に立った学生たち

民俗建築アーカイブ担当

民俗建築アーカイブ(9) 民俗建

築アーカイブ『佐藤重夫写真集

CD』の完成について

民俗建築アーカイブ担当

VIEW 民家(46) 宇野の街道松 堤 涼子

One Shot Minka(16) ケニア共 和国、ナイロビにおけるインフ

ォーマル居住地、キベラの風景

林 泰寛

会員活動情報 日本民俗建築学会 賞受賞「早津剛展 | 開催される

林 泰寛

新刊紹介 「沖縄・よみがえる民家

と集落 | 永瀬克己著 田口 和夫

#### ◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課 TEL046-225-2060 2010年創刊

**♦13** .2015.12 A4 4p

古代厚木の人々の信仰 永井 星

◆小田原史談 小田原史談会 〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18 平倉正方 ™10465-34-8363 年3000円 1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp **♦243** 2015.10 A4 32p

講演録

大老堀田正俊刺殺の真相(上) 下重 清 「花燃ゆ」の楫取素彦(小田村伊之

石井 敬士

(松島)

助)と小田原

箱根神社境内に建つ吉田松陰の和

歌碑 直江 博子

五十嵐写真館百二十年の記憶

話し手:五十嵐史郎さん 青木 良一

小田原の郷土史再発見 明治二年

大久保家の寺院寄進と忠隣妾腹

の子・上柳彦兵衛 石井 啓文

小田原桐座について(3)

一由緒書の検討を中心に 荒河 純

片岡日記 昭和編(4)

昭和2年5月・6月 片岡永左衛門

小田原の街角写真今昔(5)(岡部忠

夫先生のアルバムより) 植田 士郎

小田原史談会セミナー「小田原を

掘る | 要旨

第9回(小田原を掘る 第1回)

「旧石器・縄文時代」 講師:

土屋健作氏

第10回(小田原を掘る 第2回)

「弥生・古墳時代前期の小田原」

講師: 土屋了介氏 (山口)

小田原城の総構を歩く 中條 利昭

#### ◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 Tru045-364-4456 1994年創刊

www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/

**♦33** 2015.10 A4 4p

写真で見る城山ダムの建設

相模川総合開発事業

企画展示 相模川一人の暮らしは

その流れとともに

収蔵資料紹介 百八十年ぶりの再

発見 北条家朱印状 酉六月 二十日

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付

メールボックス26

**◇26** 2015.10 A4 2p

老若男女を政治に目覚めさせた、

安保法制の強行

郡司 春乃

シンポジウム「鎌倉の誇る近代遺

産一御成小講堂」が開催されま

した

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

**♦143** 2015.11 B5 6p

「稲武を愛した芳賀登と古橋家文

書研究会の五十年」によせて 西海 賢二

民俗写真が伝えるもの一「たまし

いの四季 | に寄せて 時枝 務

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 1m1045-251-3260 2008年創刊

www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/

**◇24** 2015.11 A4 12p

昭和43年横浜のイメージ

-県外青少年の調査から 百瀬 敏夫 資料が伝える戦争 羽田 博昭

井上武士と香川一郎一昭和初期・

子どもの唱歌と遊技 平野 正裕

閲覧資料紹介 三千分一地形図

(昭和30年代) 百瀬 敏夫

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付 Tm.045-201-2169 年2000円

**♦71** 2015.10 B5 4p

研究例会 第98回例会 柏北部の

戦争遺跡めぐり & 「首都圏と

軍隊」研究の現状と課題

情報ネットワーク 展覧会情報

#### ◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方 1980年復刊

shounankouko.jimbo.com

**♦140** 2015.10 B5 100p

《創立35周年記念号》

創立35周年を記念して 寺田 兼方

一般編

行ってきました「キウス周堤幕

群 | 赤桐 邦子

私の考古学体験 天野 弘一

雑 感 五十嵐美代子

「胆沢城跡」見学記 伊藤 郭

高座郡の高座郷は旧渋谷村 大津 嘉久

14C年代法(放射性炭素年代法)

について 加賀谷眞良

大所高所から歴史をながめて 梶山 昇

「私と考古」

菅野 博仁 久保 一介

自己紹介久保一介創立35周年に寄せて古要 祐慶

伝えることの難しさと面白みを

教わって 榊原 智之

「湘南考古学同好会 | の発展を願

澤田大多郎

入会17年を経て鈴木 悦子片瀬古代史―黎明期の展望鈴木 和一

私の考古学、その後のその後 須田 英一

河原口坊中遺跡出土の布送具を

分類する 染谷 七重 文化財保護から文化財活用へ 高野 麗 今、思うこと 寺田 兼方 仏像にお会いする 永山 鶴一 古代の鉄の作り方 西村堅一郎 古代の赤 野村 和子 いにしえの芸術家と語らい 浜野 祐之 二つの故郷と考古学 浜野 直美 入会のご縁について 原 喜一郎 埋蔵文化財発掘調査の仕事 福嶋由美子 「好太王碑」との対面 堀場 良一 秦野の川歩き 三觜正一郎 「考古学を楽しむ会」の歩み 本島 昌代 「考古学を楽しむ会 | の集まりが 10年目に入ります 米 諄 論考編 高座郡「土甘」郷の口分田 荒井 秀規 神奈川県の足洗型石斧再考 岡本 孝之 西部215地点遺跡(2次調查)出土 の墨書土器についての一考察 川嶋実佳子 遠藤貝塚出土の林中原型につい て 鯉渕 義紀 考古学とポピュラー音楽―考古 学と大衆文化をめぐる新たな 動向 櫻井 準也 黎明期三浦半島の考古学と三崎 臨海実験所 須田 英一 環状柱穴列の性格について一弥 生時代の家畜飼育施設の痕跡 か 田村 良昭 藤沢市用田南原遺跡の溝状遺構 について(予察) 中田 英 "35周年記念" 北九州弥生遺跡見学 旅行 記念講演要旨編 相模国高座郡衙と下寺尾廃寺

古代の高座郡の郷と交通網 荒井 秀規 **♦141** 2015.12 B5 24p 『第33回 藤沢市遺跡調査発表会』 を迎えて 寺田 兼方 『第33回藤沢市遺跡調査発表会』 プログラム/第33回藤沢市遺跡 調查発表会遺跡位置図/藤沢市 埋蔵文化財発掘調査一覧表 西富西原(No458)遺跡第5次調查 大坪 宣雄 東海道藤沢宿(No.78)遺跡第9次調査 望月 芳 亀井野三屋向(№105)遺跡第2次調 **香** 有馬多恵子 川名御霊神社東やぐら(No444)遺跡 横山 太郎 東海道藤沢宿(No.78)遺跡第10次調 字都 洋平

#### ◆日本地名研究所诵信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館 4 階 TELO44-812-1106 1993年創刊 www8.ocn.ne.ip/~timeiken/ **♦83** 2015.10 B5 6p 母語と地名 谷川 彰英

「伊那谷の母なる川」天龍川 原 董 伊勢崎市境島村と利根川 澤口 宏 旧迫川の流れと馬追の地名 太宰 幸子 私のふるさと

「松苗場(まつなえば)」 嶋脇 芳勝 明治期の合併と学校名 八幡 邦彦

#### ◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 Tri.045-481-5661 年3500円 1968年創刊 ◇**571** (48-7) 2015.10 A5 24p 350円 下駄スケートの名称をめぐって (七堂伽藍跡)の調査と保存 大村 浩司 ―会津地方のキンペとゲロリを

中心に 佐々木長生 | 民具短信 現代籠作り技術の起源 民具短信 京都府庁文書にみる明 治五年農具絵図 大塚 活美 富山県南砺市利賀村奥大勘場の死 装束(経帷子)「シロムク(白無 垢) | について 森 書籍紹介 『信州打刃物の里に残 る野鍛冶の家と道具―中村家住 宅及び鍛冶資料調査報告書 [信 濃町文化遺産を活用した地域活 性化事業実行委員会編 鈴木 通大 マンスリー掲示板 東京農業大学 「食と農」の博物館 特別展「女 わざと自然とのかかわり一農を 支えた東北の布たち―| ◇**572** (48-8) 2015.11 A5 24p 350円 家内労働への視点―横須賀市で製 造された金銭登録機を中心に 瀬川 渉 「焼印」からの唐箕製作年推定の 試み 桂 眞幸 民具短信 現代籠作り技術の起源 一民俗考古学からの探究(2) 名久井文明 ◇**573** (48-9) 2015.12 A5 24p 350円 壱岐島の紡錘・ケーズミ 一紡錘の地域差 古澤 義久 民具短信 竹製の千歯扱き 近藤 壮 トアオリとセンゴクの「境| 小松 隆史 マンスリー掲示板 国際常民文化 研究機構 国際フォーラム2015 "Homo material" 一人と民具 と暮らしの国際比較一 道具は 身体の延長であり、人は道具的 存在である。 **♦ 574** (48-10) 20161 A.5 24P 350円 水産生物の骨等で作成された漁具 について 今川 恵 W・H・メドハースト『英和和英 **笊と十器** 篠原 正 語彙

一民俗考古学からの探究(3) 名久井文明

◆悠 久 鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう) 〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 Tri.0467-22-0315 1980年第二次創刊 **◇142** 2015.10 A5 102p 680円 《特集 神社建築の空間》 口絵 夏の龍蛇 写真・芳賀ライブラリー エッセイ それぞれ 星野 椿 総論 本殿の内部空間の特質 三浦 正幸 古代の神社本殿の内部空間 嵯峨井 建 神体を奉安する玉殿 山田 岳晴 神社建築に見る近代 一官国幣社の社殿を中心に 藤岡 洋保 神社の礼拝空間 一拝殿・幣殿と廻廊・中門 藤澤 彰 口絵解説 夏の龍蛇 八幡宮紹介 涼ヶ岡八幡神社(福 鳥県相馬市坪田) 新刊紹介 『近世神道神学の萌芽』 椙山林継著/『伝承切り紙 祈 りのかたち「新装版]」宮城の 正月飾り刊行会編 **◇143** 2015.11 A5 140p 680円 《特集 外国人が作った日本語辞書》 口絵 『ラポ日対訳辞書』 口絵解説 『ラポ日対訳辞書』 倉島 節尚 エッセイ 「不食」を通じて見え てきた世界 榎木 孝明 外国人の日本語研究一辞書・文法 書 倉島節尚/年表 木村一 『落葉集』 山本 真吾 『長崎版日葡辞書』とパジェス『日 仏辞書』 山田 潔

陳 力衛

S・R・ブラウン『会話日本語』常盤 智子 J・C・ヘボン『和英語林集成』木村 一 E・M・サトウ、石橋編『英和口 語辞典』ーもう一つの近代日本 語資料 村山 昌俊 山田美妙『日本大辞書』の外来語 一国語辞書から見た外国語 木村 義之 コラム

キリシタンと日本語 沖森 卓也 外国人による日本語文法研究 中山 綠朗 ローマ字綴りの変遷 倉島 節尚 八幡宮紹介 新庄八幡宮(岡山県 倉敷市児島阿津) 新刊紹介 『平安時代の神社と神 職』加瀬直弥著/『青木周平著 作集』全三巻

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会 〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21 加藤導男方 1984年創刊 ◇73 2015.11 B5 59p

平成27年度上半期行事を終えて 加藤 導男 《特集 テーマ「郷土の歴史と人物」》

「丹後局の供養塔」の謎 加藤 導男 寛永白岩一揆 渡会 裕一 安芸守護武田氏と安芸三入庄地頭

熊谷氏の興亡 横山 忠弘 川崎の歴史考証に功績

山田蔵太郎の素描 近藤 政次 阪本龍馬暗殺に関わった土佐藩参

横浜歴史研究会後援第四回日吉落

 語会開催報告
 (編・記)

 著書が発刊されました
 (編・記)

平成27年度春の歴史散歩「中世幕

末の世田谷を訪ねる」 中澤 静雄 平成27年度 バスツアー「世界遺

産・富岡製糸場と絹産業遺産群

を訪ねる!

古歌をたづねて(3)

古今集歌と姥捨山伝説 丹下 重明

藤盛 詔子

「おくのほそ道」ひとこま

 立石寺
 高島
 治

 三内丸山遺跡を訪ねて
 横須賀良子

 大阪城真田丸
 山口
 正枝

古里にしてノスタルジアの地

仙台 古谷 多聞 トルコ武術紀行とトルコで感じた

こと 太田 重明

## 中 部

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1 鶴巻武則方 Tm.025-231-6100 1935年創刊 www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/

◆398 2015.11 A5 72p 新潟県における歯痛信仰(1)

一歯痛信仰の諸相 岩野 笙子 貞観園と藍沢南城 鶴巻 武則 私の民俗学入門

生徒時代の民俗研究 広井 忠男 植田の笠づくりとアンギンのカラ

ムシ前掛けの話陳玲小報告集M佐藤和彦初午行事金田文男

有志見学会報告 長岡市寺泊の二

面神社祭礼と生福寺蟹供養 高橋 郁子 平成27年度秋の談話会報告 鶴巻 武則 (余白) 小林生のこと 鶴巻 武則 会員出版物 中村義隆著『古文書 が語る北越の領主と民衆』

◆新潟県文人研究 越佐文人研究会 〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2 1m025-688-5335 1998年創刊 ◇18 2015.11 B5 277p グラビア特集・没後60年 會津八 一の世界/「没後50年 新鮮味豊 かな會津八一展」風景 會津八一略年譜

良寛と道者超元 小島 正芳 良寛は還郷の際、なぜ善光寺の次

に糸魚川へ行ったのか 本間 明 良寛研究家 浅田壮太郎翁のこと

中村 忠夫
大忍魯仙のこと 本間 勲
良寛書簡における一考察 佐藤 綾香
山岸楽斎とその顕彰活動の軌跡 山上 健
花と月とで、余生を送る 川村 正史
『相馬御風宛書簡集Ⅳ』について

(10)一山本五十六との交信 金子善八郎 「曽根町報」に寄稿した国文学者

報」を発行した倉品克一郎 小林 多聞 五十嵐浚明 三幅対「林和靖・山

山岸徳平と戦後「にしかわ広

水図」について 山田 城介 漢詩人としての阪口五峰 田 春 娟 版画家 式場庶謳子の世界 旗野 博 新潟県の近代詩成立過程

一平井仁八を中心に 鈴木 良一平野秀吉が作詞した校歌と作曲家小林禮・田中信太郎・小出浩平

槇田 善衛

点描 小山松渓の生涯

一主として漢文学の視点から 柴田 清継 拾遺・『御掛物帳』にみる溝口家

旧蔵の書画 宮ゴ

弥彦神社の老官行田家と地域の文

人 中澤 資裕 吉田楳斎編『越後人物誌』其の一

齋藤 倫示

日本医科大学のこころの母校

長谷川泰の済生学舎 細井 昌文 秋艸道人の「為書」に関する考察

李 銘宗

海雲寺十九世高山義一和尚の事績

を訪ねて 江端 完治 會津八一関係の最近情報 池内 力 會津八一、伝道山脈 岡村 鉄琴

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内 TELO25-262-6289 1968年創刊 ◇73 2015.10 A5 91p 1000円 上杉輝虎発給文書の花押とその変

ス』第X書に見る強制(強請)行

高橋 秀樹

『和名抄』所掲の佐渡国の郷に関 する覚書一付・大東急本にみえ て高山寺本にみえない郷名の類

型 桑原 正中

国際シンポジウム「環東アジア地域から見た隋唐帝国――次史料

と地域から考える | について 山内 民博

2014年新潟県における災害史展示とその成果について一新潟地震

50年・中越地震10年 中村 元

新刊紹介 中野三義著『新潟奉行 川村修就の治政の総合的研究―

新潟湊の天保改革―』 杉本 耕一

書評 金田文男著『越後の民俗一 宮武 慶之 信仰の受容変容にみる人の動き』

岩野 笙子

◆まきの木 巻郷土資料館友の会 〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1 TELO25-672-6757 年1500円 1978年創刊 **♦103** 2015.10 B5 20p 蒲原郡馬堀筒(ど)と首塚の物語の 補潰 亀井 功 没後十年・蒲原の画家「樋口峰夫 展しを拝観して 비난 「古代遺跡の多様性~西蒲区の遺 跡を中心として~|見学記 細井 住浩 「グリーンハイツ区」の誕生 笹川 忠一 石碑にみる土地改良(1) 一西蒲区巻地区を中心に 沂 武郎 平成27年度春の視察旅行

◆良寛だより 全国良寛会会報 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文 化博物館新潟分館内 TELO25-222-2262 1978年創刊

村上地域の歴史文化を訪ねて 山賀

**♦150** 2015.10 A4 20p 《「良寛だより|発刊150号記念号》 「良寛だより | 発刊150号に寄せて

長谷川義明

創刊号以来のご尽力に感謝 山本 良一 「良寛だより | 発刊150号に寄せて 会員の心の絆を深く、熱く結ぶ、

架け橋に 柳本 雄司 良實と産業革命の精神 田主 智彦 編集業務を担当して 加藤 僖一 一期一会の出会い 宮迫 勇 遅延しない「たより」に驚き 川口 霽亭 担当役員に感謝々々 藤田 正夫 「良寛だより」への期待 松世 勝久 若い人の参加で二○○号へ 横山 勤二 全国良寛会 ことはじめ 青木 渞

宮栄二先生の膝下で 田中 要 創刊からの歩みをたどる 吉井 清一 新 良寛尊像つれづれ(12) 托鉢 の良寛像と兎 木彫 小島久路 髙杉 幹夫 折々の良寛(39) 第38回全国良寛 会総会-新潟大会 長谷川義明 「平成27年度 第38回全国良寛会 新潟大会 | アンケート集約結果 について 坂上 義風 全国良寛会新潟大会に出席して 櫻井 浩治 「良寛居士」との出会い 杉本 武之 全国良寛会総会に出席して 佐野 君子 平成28年度「第39回」全国良實会 新潟大会(予告) 「はちすの露」を深く読む 三、 良寛と貞心尼 仏道への導き 小島 正芳 良寛 月をめでるうた 素描 吉田 福恵 写真で見るトピックス

田中の松「丸子山」を正しい表記 「丸小山」に 山上. 健

◆MARUBL ふじさんミュージアムだより 〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1 Tel.0555-24-2411 www.fv-museum.jp **♦43** 2015.11 A4 8p

歴史民俗博物館リニューアル! 「ふじさんミュージアム」

展示紹介

新しい博物館/施設の概要 あたらしくなったミュージアム の展示を紹介します。 付属施設のご案内

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 Tel0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/

**♦ 78** 2015.10 A4 4p 第13回飯田市地域中研究集会を開 催しました 特集 飯田・下伊 那の歴史的景観

歴研賞2015 受賞者コメント 著作賞 坂口正彦著書『近現代 日本の村と政策』(日本経済 評論社)

奨励賞 満州移民を考える会編 『下伊那から満州を考える』、 小島稔著「「恒川官衙遺跡」 の国史跡指定に寄せて | (『伊 那』1032号)、今村作衛著 「恒川清水に思うこと」(『伊 那』1032号)

新刊案内 「胡桃澤盛日記 | 刊行 会/飯田市歴史研究所監修『「胡 桃澤盛日記 | の周辺』(胡桃澤 盛日記・別巻)

美博まつり★建物の模型をつくろ う/報告 飯田アカデミア2015 第75講を開催しました/飯田・ 下伊那の歴史 下(明治~大正) 大好評につき増刷!!

♦ 79 2015.12 A4 4p

平成27年度文化庁文化芸術振興費 補助金(文化遺産を活かした地 域活性化事業) 旧下久堅支所 行政文書調査が終了しました

歴研の調査研究活動―史料調査の 現場から

報告 全六卷完結記念会『胡桃澤 盛日記』を語る

阿南病院祭における建築史ゼミ成 果展示

歴研史料展示コーナー 旧飯田市公民館設計図面 ◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048 Tel.0265-22-6017 年5500円

**◇1049** (63-10) 2015.10 A5 50p 550円 口絵 天龍村坂部のニホンオオカ

ミ頭骨二点 小泉 明裕

水質の改善を物語る水中の生き物

たち-伊那谷の河川水質は確実

に良くなった 久保田憲昭

下伊那北部を流れる河川の上流域

の水質 竹村 元志 大原 均 伊那谷を北上するカワムツ

北極とヒマラヤの自然が出会う!?

南アルプス 四方圭一郎

小鳥バスも出した

の狼煙台

伊那探鳥会の歴史 **◇1050** (63-11) 2015.11 A5 50p 550円

口絵 極楽山頂に潰る「武田信玄

「武田信玄の狼煙」が築いた地域

と人々の連携

南信州の中世後期の城館跡につい

岡田 正彦

諏訪地域と上伊那地域の中世城館

跡について 河西 克浩

「武田信玄狼煙会 | 発足と活動状況

大洞 利雄

董

莆

「武田信玄狼煙会 | の各地の活動状

根羽村の活動状況 根羽村公民館 石原 下條村の狼煙活動

下條村公民館長 細田照一

武田信玄狼煙会の発足と狼煙上

山本公民館長 林武史 げへの参加 飯田市龍江今田平の狼煙上げ

飯田市龍江公民館長 鳴海和彦 小学生とあげた神之峯の狼煙

上久堅公民館長 橋爪学

喬木村も狼煙上を続けて

実行委員 木下昭司

狼煙上げについて思うこと

豊丘村公民館 唐澤克己

確認された吉田茶臼山のろし台

高森町 木村昌之

大島城(台城)での狼煙上げ

松川公民館 矢澤登

陣馬形山狼煙上げ

中川村狼煙上げ実行委員会 西澤三良 飯島町有志グループの取り組み

飯島町狼煙研究会 堀越實満

伊那市東春近での狼煙上げ

伊那市東春近公民館長 原弘幸 富県狼煙会 富県公民館長 北原和俊 高遠狼煙上げ 高遠町公民館 原和男 諏訪地方の狼煙リレー 武田信玄狼煙会 諏訪地区代表理事 秋山大一

ルポ「飯田線の踏切」(4) 鼎乃木

坂の粥川進策「赤ひげ」医師 佐古 新一下伊那日録(2010年4月~6月) 寺田 一雄 令1051 (63-12) 2015.12 A5 50p 550円 口絵 伊那谷にもいた朱鷺 桃沢 匡行下伊那郡町村長会の満州視察一今

村正業「満鮮視察日記」(上) 本島 和人 「木下釣月」子規を慕う夭折の俳

人 その作品の発掘と子規から

の手紙 竹村 雄次

思い出の講師(4) 将棋第十五世

名人 大山康晴 大原千和喜

史蹟を尋ねて緑の旗は行く

 関東周辺歴史ロマンの旅
 今牧
 久

 関東周辺の旅に参加して
 宮崎
 據

 歴史を変えた岩宿遺跡
 岡田 正彦

 上野吉井にて
 山内 尚巳

関東周辺ロマンの旅(もう一度

たずねたい場所) 伊藤 尚和 訪伊香保温泉(漢詩) 寺田 一雄

伊那 第63巻 総目次

〈2015.1〉より〈2015.12〉まで

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7 Trat0265-78-1269 年5000円

**◇705**(59-10)2015.10 A5 48p 500円 《戦後70年特集(3)》

〈第40回上伊那歴史研究会県外実査地踏査報告 終戦70年、疎開と上伊那とのつながりを探る〉

実地踏査の概要 渡辺 弘行 東京大空襲・戦災資料センター訪

問 杉田 純治明治大学平和教育登戸研究所資料

館 田村 栄作

登戸研究所から見えてきた研究者

・技術者たちの姿 福澤 浩之 「絶対国防圏」の崩壊と海軍司令部

高木 幸伸 学童疎開と上伊那 内藤りつ子 戦後70年、私の夏 田畑 静夫 伊那飛行場に存在した建物の戦後

利用について 河野 景

再開した上伊那高校生平和ゼミナ ールの活動 北原 恵美

学童疎開の苦難の歴史を語り継ぐ

ために一東京都二子玉川国民学

校の記録から 桂川 雅信 「望郷の鐘」上映会の取り組み 荒 惠子 古文書の窓(124)

新町村、村名の改名を願う 三浦 孝美 高山の植物(35) シャクジョウソ

ウ 南アルプスで見かけた植物

山内 尚巳 (22) 田中 茂
一度 (706 (59-11) 2015.11 A5 40p 500円 《文化・民俗特集》 諏訪の御柱考(1)

一陰陽五行思想から謎を解く 田中 清文 伊那御柱の今昔 三浦 孝美 今泉のお薬師様とイチョウの樹 中崎 隆生 短歌 破袋大黒柱鬼の首(11) 野溝 直人 伊那市内の埋蔵文化財破壊の経過

一太平洋戦争終戦後 飯塚 政美 『俳人井月 幕末維新風 狂に死す』

感想文 竹入 弘元 文化短信

冬の使者・コハクチョウ 吉田 保晴 日本の子育て(21) 自治 大槻 武治 高山の植物 (36) アリドオシラ

ン 南アルプスで見かけた植物

(23) 田中 彦 **◇707** (59-12) 2015.12 A5 40p 500円 長野県南信工科短期大学校の開校

が間近―平成28年4月開校・県

内2番目 山口 通之 諏訪の御柱考(2)

ー陰陽五行思想から謎を解く 田中 清文 「嗚呼痛恨満州開拓の詞」に長藤

村が入っていない 伊東 忠康 短歌 破袋大黒柱鬼の首(12) 野溝 直人 高遠藩大手門坂「決闘事件」の真

相と後日潭 北原 昌弘 橋本俊明著『正岡子規直門桃澤茂

 春実暦』感想文
 竹入 弘元

 伊那を訪れたノーベル賞作家
 小牧 崇

 日本の子育て(22) 黒子
 大槻 武治

 文化短信
 伊那西地区総合展「体

験交流学習~ミニ講座~」 大日野昭美 『伊那路』第59巻総目次 上伊那郷土研究会 高山の植物(37) シナノショウキ ラン 南アルプスで見かけた植

田中 茂

物(24)

#### ◆伊那民俗研究

柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TELO265-22-8118 年3000円 1990年創刊 inaminkenhome/blogspot.jp ◇23 2015.11 A5 105p 三遠南信地域のシカウチ神事と諏 訪信仰一鹿の霊性に寄せて 櫻井 弘人 柳田国男から折口信夫へ受け継が れしもの一言語論的民俗学の展 開 岡安 裕介 財団法人民俗学研究所の解散の経

一資料の確認を中心として 田中 正明

#### ◆信 濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607 TEL0263-36-1785 年8400円 www.shinano-shigakukai.jp ◇789 (67-10) 2015.10 A5 80p 1000円 「風狂」的教職者・藤森寿平一近代 教育の「源流」を越えて 塩原 佳典 古代信濃の鉄鐸についての一考察

川崎 保

大正期の大字集落における産土神 社の神社費の推移について一安 曇野市真々部諏訪神社を中心に

黒崎八洲次良

報告 平成27年度地方史講座一安 曇族信濃来住の伝承をめぐって

高原 正文

**◇790**(67-11)2015.11 A5 82p 1000円 《満州特集》

満州信濃建設と長野県(上)一「御 下間|と拓殖行政を動かした人

本島 和人

満州事変後の「満州熱」と「漫然

渡満者」一『大連新聞』記事を中 心に 町田 祐一 帰国邦人団体の会報からみる満州 の記憶 佐藤量/新谷千布美/

菅野智博/飯倉江里衣

満州移民の歴史と個人情報の壁ー 開拓団実態調査表をめぐる問題

加藤 聖文

「精霊を宿す甕」 桐原 健 ◇791 (67-12) 2015.12 A5 80p 1000円 《特集 小笠原氏》

小笠原氏一門坂西氏についての基 礎的研究—南北朝・室町期を中

心に 花岡 康隆 小笠原貞慶発給文書の基礎的研究

村石 正行

近世期における小笠原流礼法の展 開一水嶋流の鷹書を端緒として

二本松泰子

筑摩郡小池村草間氏の出自に関す

る考察 斉藤 宣政 『信濃』第67巻総目次

#### ◆長野県民俗の会会報

ポスト柳田から脱柳田

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐 2626-24 三石稔方 Tel0265-37-3017 年5000円 1978年創刊 www.k2.dion.ne.jp/folklore/ ◆38 2015.11 A5 95p

一二一世紀民俗学の課題 福田アジオ 横須賀で行われた御柱祭 佐藤 照美 富山県初の2010年代前半における

現代民俗文化論―これからの少子高齢化社会にむけた民俗のあ

 り方をめぐる冒険
 中田 亮

 「獅子切り」覚書
 三石 稔

長野県松本市蟻ケ崎犬飼山御嶽神

社の祭り 小原 稔 成田祇園祭における観光化の研究

一先鋒の役割を中心に 市東 真一 \* 高度経済成長以後の生活様式の変化や人口 移動などによる社会変容、少子高齢化社会の 拡大、追い打ちをかけるように平成の市町村 合併による地域基盤そのものの変動、そうし たことによって民俗文化を維持するための社 会的資源が急速に失われていきつつある現代 において、民俗はどうあるべきなのか、どの ように伝承性を維持すべきなのかを、いくつ かの実践に基づき、「若者 |= 世代を超えて、 「よそ者」= 地域を超えて、「バカ者」= ジャン ルを超えて、の三つの視点から論じた中田亮 「富山県発の二○一○年代前半における現代 民俗文化論―これからの少子高齢化社会にむ けた民俗のありかたをめぐる冒険― | は興味 深い。

中でも、「バカ者」で、高岡市吉久地区における現代アートと民俗との静態的な関係や、同市金屋町の御印祭におけるアニメキャラクター(サブカルチャー)とのコラボレーションなど、一見して民俗の常識的なあり様を逸脱していると思われる取組みの中に、民俗の本来的な機能を取り戻すための示唆があるとの指摘は刺激的である。

「ハレ・ケ・ケガレ」、民俗とは本来、「未



知なものに挑戦することを通じて稀有な出来 事に遭遇する行為」=「冒険」であったに違い ないと思わされた。

#### ◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐 2626-24 三石稔方 TELO265-37-3017 年5000円 www.k2.dion.ne.jp/ folklore/ ◇250 2015.11 B5 8p 七夕・饅頭・安曇族 巻山 圭一 長野県民俗の会第196回例会報告 今田人形芝居見学を通して 小原 稔 ◇251 2016.1 B5 12p

√251 2016.1 B5 12p
中国製の「道祖神」碑 倉石 忠彦
長野県民俗の会

第197回例会参加報告 高山 直樹 書評 長野県民俗の会編刊 倉石 忠彦監修『長野県中・南部の石

造物』 加藤 隆志 第67回日本民俗学会年会に参加し

て 多田井幸視

(三石)

平成27年度総会概要報告 『長野県道祖神一覧』(仮称)

八百津町と木曽川(舟運)

第一回編集会議報告 (三石)

◆美文会報 美濃文化財研究会 〒509-0124岐阜県各務原市鵜沼山崎町9-

101 横山住雄方 ™1058-384-1983 ◇535 (15-10) 2015.10 B5 6p 500円

 黒瀬湊(4)
 二本木 紘

 犬山鵜飼の歴史
 横山 住雄

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会 〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会学部法学科 橋本誠一研究室 151.054-238-4544 年4000円 1979年創刊 ◇40 2015.10 B5 140p 1500円第37回総会記念講演 混迷する「慰安婦」問題を考える─日本軍

「慰安婦」制度と植民地支配 金 富子 特集 I 近代伊豆の諸相

韮山代官手代の直参化と維新期

の対応 樋口 雄彦

伊豆における国会開設署名運動

一伊豆南北の視点から 高橋 廣明 下田区裁判所における私和(刑

事内済)事件 橋本 誠一 浜岡原発と私一伊藤実氏に聞く 竹内 康人 新刊紹介

田村貞雄『秋葉信仰の新研究』小池 善之 書 評

藤井信幸『池田勇人一所得倍増

で行くんだー』 児玉 和人 静岡県近代史研究会編『時代と

格闘する人々』

特集Ⅱ 会誌40号記念

都道府県立図書館の体験 田村 貞雄 「静岡県近代史研究会 | をふり

かえって 肥田 正巳

会が十五年戦争期の究明に取り

組んだ頃 加藤 善夫

総目次と執筆者別索引

#### ◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室 年4000円

◇445 2015.10 B5 4p 100円保阪正康氏の講演に期待する 小池 善之『静岡県近代史研究』第40号につ

いて

拙著『報徳運動と近代地域社会』

について足立洋一郎資料保存と媒体川上 努

岡田 泰平

**◇446** 2015.11 B5 4p 100円 11月例会レジュメ 復興期日本自 動車部品産業の成立過程 児玉 和人 熊本近代史研究会創立55周年「シ ンポジウム 地域から見た敗戦 70年」参加記 小池 善之

総会報告(その1)

**♦447** 2015.12 B5 4p 100円 総会報告(その2)

「92年を生き抜いて」

小長谷澄子先生 勝又千代子 小長谷澄子さんを偲んで 浅見 幸也

#### ◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101 web.thn.jp/s-folklore/

**♦157** 2015.11 A4 6p 今に伝わる竜爪信仰

一行翁(ぎょうおう)山の祭り 多々良典秀 静岡県の民俗語彙・方言短信

カマアナ 外立ますみ 野本寛一先生が文化功労者に 中山 正典

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TeLO54-286-8659 **♦144** 2015.11 B5 16p 心はロマンに包まれて 古史匂う 金沢の旅 一泊二日史跡見学会

大川 誠一

第109回研究会 石川豊子女史の 「石川勝正の家系」の概要/松 本検氏の徳川家康出生の謎しの 概要/寺尾弘之氏の「日本の領 十一の概要

愉快に楽しくみのり多く 秋の大 井川周辺記日帰り史跡めぐり 大川 誠一 ◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 Tel052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp **♦248** 2015.10 A5 32p

熱田雑集四 太田 正弘

松浦武四郎の蝦夷地調査と熱田神

創祀千九百年記念告営事業の回顧

小久保雅広

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会 〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜 字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内 Tet.0569-65-2880 1966年創刊

**◇100** 2015.11 A5 108p 500円 表紙 先苅貝塚の出土品

先苅貝塚

《「みなみ」第百号特集号》

「みなみ | 百号の発刊に寄せて 相川 成三 未来への思い 石里 和彦 「みなみ | 第百号の発刊にあたり 森下 利久 歴史と平和を背負う旅人 榎戸 陵方 人間形成における心の糧に 大森 宏隆 いつまでも続く「みなみ」である

ことを願って 夏目 安敏 「みなみ | 第百号の発刊に寄せて 西山 泰生 『みなみ』百号衍義 加藤喜代吉 内海を離れて六十五年 内田 敬一 「みなみ」百号の編集を終えて 中村 祥 平成27年度南知多郷土研究会役員 名古屋城と篠島の石垣採石

丁場編(1) 石橋 伊鶴

内海・山海温泉株式会社

「白砂の湯 | 顛末記 大岩 降

我が敬愛する郷土の先輩

山岡藤市翁 内田 恒助

神戸信孝はなぜ内海で「切腹」を したのか―「本能寺の変 | 第三章 安原 俊宝

永田 文夫

内海高等学校日間賀分校の開校前

後の動きとその資料

忠臣蔵の虚像と実像 松井 一夫

織田源五長益と大草城 『織田信 雄分限帳』掲載の知多郡給人・

知行高・給知郷 早川 佳宏 祭神孝明天皇「玉鉾神社」が何故

武豊の地に? 永田 文則 御在所嶽 内田 白花 調達金への春秋(1)

尾張藩草創期 加藤喜代吉 平成27年度 南知多町豊浜におけ

る総会並びに研修会 石里直須美

「みなみ」目次総覧

第91号~第100号 編集部

南知多郷土研究会五十年のあゆみ

(昭和41年~平成27年) 編集部 ◇別冊 2015.11 A4 57p 1000円 《創立五十周年記念 郷土研究誌「みなみ」

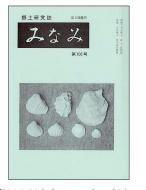
目次総覧・題名索引(地区別)》

南知多郷土研究会創立五十周年に

寄せて 相川 成三

目次総覧 第1号~第100号 表紙(1)/表紙(2)/表紙(3)

埋草(短文もの)



\*南知多郷土研究会は1961年の創立で50周年

を迎え、同年創刊の機関誌「郷土研究誌 み なみ」も年2回発行を維持して100号を重ねた。 会員数52名で発足し、現在は240名余。この ことからも、全国の多くの郷土史研究会が会 勢衰退に悩む中で、地道に着実な歩みを進め てきたことが分かる。慶賀すべきことだ。

町議会議長(執筆当時)の榎戸陵友氏が、 「郷土研究誌 みなみ」を「歴史と平和を背負 う旅人」と美しい言葉で替辞し、同誌を原点 に、郷土の歴史を検証し、先人の労苦と努力 の結果により現在の南知多町が存在すること の意義を正しく認識して、その知恵や発想を 町政に生かし、町民と連帯して町の発展に尽 くしたいと記していることは素晴らしい。ま た、教育長の大森宏隆氏も、同誌のおかげで 郷土の歴史をたくさん学ぶことができ、「先 人の知恵と営み、勇気と努力、郷土の発展を 願う心、それらに触れることにより、郷土に 愛着を感じ、郷土に誇りを持ち、郷土のため に役立ちたいという気持ちが涌いてくる」と 述べる。そうした思いを是非教育に生かして 欲しい。

50周年を記念して別冊で、「郷土研究誌 み なみ」の目次総覧・題名索引(地域別)を編集。 100号までの論考は1170本になるとのことで あるが、題名索引(地域別)はそれらを、町外 を含め8地区に再編成したもの。地域を知る 有効な手がかりである。

#### ◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25 Tel0567-37-0441 年5000円

**♦580** (55-6) 2015.11 B5 8p 600円 新刊紹介 郷土文化通信第21号特

集 食の自分史覚書 本田碩孝

尾張津島天王橋の一考察

江本 淳人 飛騨古川の数河獅子 菅野 下昭

民俗芸能情報 宮崎県児湯郡西米 良村小川 米良神社/同所西米 良村村所/同所西米良村越野尾 /宮崎県西都市銀鏡 銀鏡神社 /民俗芸能学会住田大会/全国 古典万歳大会

表紙写真のことば 箱根大名行列

渡辺 良正

## ◆伊勢郷土史草 伊勢郷土会 〒516-1103三重県伊勢市津村町786-7

1973年創刊

**◇49** 2015.10 B5 100p 1300円 伊勢市の歴史的背景

松月 久昭 辻村 修一

二見随筆 幕末てんやわんやの立

石基层

五二会のこと

濱千代日出雄

史跡と裏話

小俣の「りきゅうさん」 中東 一榮 資料紹介 伊勢市浦口町連合会所

蔵の小町塚出土、瓦経・蓮弁台

座・陶製宝塔について 津田 守一 奈良市正暦寺伝来 伊勢両宮曼荼

石井 昭郎 羅絵図考証・追補 伊勢郷土会第470回例会

奈良・当麻方面見学記 中村 保

朝熊岳金剛證寺 本尊式年ご開

伊勢郷土会第482回例会

帳参拝と学習会 阿形智恵子 伊勢郷土会だより 松井孫右衛門

人柱碑周辺清掃奉仕 事 務 局

### ◆織豊期研究 織豊期研究会

〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部 日本中研究室内 Tel.059-231-9218 年1500円 1999年創刊 **◇17** 2015.10 B5 98p 1500円 「小山評定 | 再論

一白峰旬氏のご批判に応える 本多 隆成 清須三奉行の再検討 山﨑 布美 織豊期公家の集団的参礼にみる身

分秩序構造 井出麻衣子 文禄四年政変と近江佐和山城 藤田 達生 戦場をあるく一戦場調査ガイド

長島一向一揆 石神 教親 書 評

木下昌規著『戦国期足利将軍家

の権力構告 川元 奈々 福田千鶴著『豊臣秀頼』 林 晃弘 活動報告 織豊期研究会事務局/藤原達生

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団 〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生 会館 151077-522-8369 年2520円 1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.ip **◇153** (39-4) 2015.10 B5 92p 584円 《特集 近江の古戦場》

総 論 太田 浩司 第1章 大津の古戦場 中森 洋 第2章 湖南の合戦 藤岡 英礼 第3章 彦根・湖東の古戦場 谷口 御 第4章 湖西の古戦場 白井 忠雄 第5章 戦乱と鎮魂の寺・三井寺 福家 俊彦 おうみ(近江)おうみ(多見)歩く

(18) 肥田城跡を訪ねて 加藤 腎治 おもしろ近江考古学(5)

船形埴輪(栗東市新開4号墳) 松浦 俊和 四季をめぐる健康食 秋編 鳥の目巡遊(5) もみじの寺

西教寺/長寿寺と常楽寺 延木由起子 元気な商店街その魅力(9) 多賀 大社表参道絵馬通り商店街(多 賀町)

三角点の山と私(6) 山岳寺院の山

見張山(音羽山) 井上 幸江

天吉寺山 天下人「信長」の実像(8) 安土城は革新的なのか? 髙木 敍子 滋賀文化事情

いのちのリレー リレー・フォ ー・ライフ・ジャパンへの思

安田 博彦

図書館の民営化 「無料の原則」

が保障された公立図書館 梅澤 幸平 書の文化にふれるユニークな博

物館 開館20周年に新館オー

プンして再スタート 寺前 公基 近江の水をめぐる(12)

参りの水、頼みの水 石川 亮

新連載 森が育む(1) 知識と体験 美味しいフユイチゴを食べさせ たい でも、手にした子どもた

ちの反応は 丸橋 裕一

河辺いきものの森の取り組み 北から南から

高校総合文化祭でバクパイプの

魅力を披露 赤尾 和美 湖南市の画家のユニークな猫の

長井 泰彦

シルバーの集いで自分の生き方、

逝き方を考える 奥野寿美子 日本刀づくりで町おこし 清水 貴子 感動与える勢力的な造形 編集室

わたしと湖国(9) キラキラと輝 く琵琶湖の景色に癒され 異動 の地でスポーツや福祉に体当た

浅野 有紀

違った表情を見せる湖と4島を楽 しむ。「ぐるっとびわ湖島めぐ

り | 乗船記 植田耕司/写真・長井泰彦 シリーズふるさと游彩(7)

西野水道

布施太一郎 | 歴史文書は語る 県政史料室から

(17) 瀬田川浚渫 大月 英雄

#### ◆戦国史と人 女風林火山

戦国史と人を学ぶ会/武田勝頼・松姫探究 会 〒520-0528滋賀県大津市和迩高城289-

11 年1400円

**♦ 57** 2015.10 B 5 86p

《特集 他界後四百年 武田松姫と織田秀信》 『細川ガラシャ夫人』生誕450年に

天田 茂

織田秀信の母と妻子、養子につい

ての基礎知識 首藤 義之

織田秀信・秀則兄弟の基礎知識

結城了悟氏著『キリシタンにな

った大名』の紹介 編集局

聖衆来迎寺蔵の織田秀信・徳寿院

殿画像の研究小史 編集 局

「徳寿院殿 | 位牌の調査報告 (井上

優氏)の紹介 編集局

「西山家文言覚書秘傳録 織田信

長孫秀信之巻 | (写本)の紹介 編 集 局 織田秀信(三法師)の生母松姫説の

真偽を探る(後) 首藤 義之

戦国史読書案内 木下浩良氏著

『戦国武将と高野山奥之院―石

塔の銘文を読む一』 編集局 戦国史新聞記事の切り抜き

#### ◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5 Tel0740-36-1414 年4800円 1963年創刊 sigaminzoku.fc2web.com

**◇625** 2015.10 B5 12p 400円 書籍から派生した「世間話」とイ

ンターネットを経由した「言い

伝えし 大喜多紀明

田中陽一郎 近江中世石浩美術石材ノート

花崗岩製石造美術(5) 兼康 保明 織田信長と筑紫の客僧 長谷川博美 華表資料『武江年表』の目黒富士

関 啓司

琵琶湖 沖の島の民俗(5)

一近江八幡市沖島町 菅沼晃次郎 日光写真について 粕渕 宏昭 **◇626** 2015.11 B5 12p 400円 日本人の民族性は?

一教えられた歴史と民俗 菅沼晃次郎 普門寺松尾寺と七不思議

一米原市旧松尾寺村 江竜 喜之 讃岐・金比羅さんのUボートを描

いた大絵馬 兼康 保明 織田信長署名と浅井長政花押 長谷川博美 地名・人名資料 メタカ・メダカ・

メカダについて-滋賀県愛荘町

近江中世石造美術石材ノート

目加田 全国目加田会 アイヌ民族の数詞と対称性を好む

心性 大喜多紀明 抜根機(ばっこんき)について 粕渕 宏昭 おいしい飯の炊き方について 粕渕 宏昭 **♦627** 2015.12 B5 12+4p 400円

花崗岩製石造美術(6) 兼康 保明 明智光秀の菱形印判 長谷川博美 救助信号「SOS」について 粕渕 宏昭 液用の枡について 粕渕 宏昭 近江柏原宿の特産

淋病の妙薬について 粕渕 宏昭 ペーパーナイフ(レターオープナ

ー)について 粕渕 宏昭

琵琶湖 沖の島の民俗(6)

一近江八幡市沖島町 菅沼晃次郎 近江木戸の民俗(1)

一旧滋賀郡志賀町 菅沼晃次郎

民俗文化 第616号~627号(7121

~7264頁) 総目次(51)

◆京都民俗 京都民俗学談話会 〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96

仏教大学文学部 八木透研究室気付

TELO75-491-2141 年4000円 1984年創刊

**♦33** 2015.11 A5 208p 滋賀県東南部における遙拝所碑の

建立状況

戦国武将の民俗誌一豊臣秀吉の事

績と伝承を題材に

ひと節のわざを伝える技術一上小

波田の竹製火縄を例証として 青江 智洋

市川 秀之

精霊船というモノの祭祀主体の変

化からみる 変化からみるムラ

・イエの盆行事―福井県若狭地

湯 紹玲 方の事例から

都市公園とその周辺における野生

動物群の行動管理一奈良公園に

おける鹿寄せの成立 東城 義則

京都市における建碑事業とその社

会的背景一京都市教育会の史蹟

表彰事業を中心に 塚田なつみ

明治初期における京都博物館と民

俗資料―古器旧物保存方とその

後の博物館 荻野 裕子

京都・石座神社の祭祀組織におけ

る変容過程 平原 園子

長野県南信濃村における遠山常民

大学受講生と地域づくり組織の

メンバーとの関係 高木 秀和

報告 ユネスコのセミナー「北東

アジアにおける無形文化遺産の

ネットワークの強化と情報共有

に向けた協力について 長谷川嘉和

書評 星野紘著『過疎地の伝統芸

能の再生を願って一現代民俗芸

能論一』 三隅 貴史

新刊紹介 村田和代 · 松本功 · 深

尾昌峰・三上直之・重信幸彦著 『市民の日本語へ一対話のため のコミュニケーションモデルを つくる』、野村一夫著『ゼミ入門 一大学生の知的生活第一歩』 土居

◆古代史の海 「古代史の海」の会 〒615-8194京都市西京区川島粟田町22 中村修方 FAX075-392-3743 年4000円 1995年創刊 www7.ocn.ne.ip/~kodaishi/

**◇81** 2015.10 A5 64p 1000円

巻頭言 編集長就任挨拶 上遠野浩一 六甲山と向日神(前) 中村 修

古墳と常世国一スクナヒコナにお

ける主権機能の考察 河越 尚司 会員ひろば(小休止)

高句麗と日本語 渡部 正路 或る詩人からの手紙 尾関 章

アンデス通信(34) 高橋是清の

アンコン訪問(1890年) 市木 尚利 書評 田中琢『考古学で現代を

見る』 西川 寿勝

尾張連と尾張国造―上遠野浩一氏

からの批判に謝して 尾関 章

百済観音の飛鳥時代(4) 百済観

音の神仙思想 一(神仙思想と

その伝播) 山下 輝幸

◆史迹と美術 史迹美術同攷会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入 西大路町146 中西ビル内

TELO75-462-4292 年8000円 1930年創刊

**◇859** (85-9) 2015.11 A5 34p 916円 江戸六地蔵の鋳物師、太田駿河守

藤原正義(4) 久右衛門と駿河 守一ミッシングリンク、八王子

市諏訪町旧浅間寺聖観世音菩薩

坐像

石塚 雄三

日本の塔百選(38) 談山神社 十

三重塔(多層塔について) 中西 亨 九州様式石塔について一その源流、

発生・展開及び分布について 佐藤 第1010回例会

醍醐寺(下醍醐)を訪ねる 加藤 友規 **◇860** (85-10) 2015.12 A5 32p 916円 平安京を巡る墓地・葬地の展開(1)

久世 康博

日本の塔百選(39) 善通寺五重塔

中西 亨

九州様式石塔について一その源流、

発生・展開及び分布について(6)

佐藤 誠

第1011例会 万福寺から法界寺へ

一字治川右岸の文化財 加藤 繁生

白河院の建築 矢ヶ崎善太郎

第85輯(851~860号)総合目録

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0883京都府福知山市本堀1430

中村邦夫方 TEL0773-22-2737

**♦754** 2015.1 B5 4p

平成27年度総会報告 記念講演

「福知山城下絵図と朽木氏」

福知山史談会 山口正世司会長

平成26年度 古文書講座のまとめ

(平成26年5月~同27年3月) 佐古田廣文

◇別冊 2015.1 B5 8p

福知山中談会会報「中談ふくち山」

目録 その六 601号より700号

**♦755** 2015.2 B5 4p

愛宕神社創建四百年記念余話1

山下大鳥居の扁額について 増田 信武 山下大鳥居の扁額について補記

増田 信武

朽木昌綱と狩野探幽

大槻 伸

**♦ 756** 2015.3 B5 8p 福知山市土師地域の市街地化の経 過 土師区有文書「土師永代記 録帳 | より 佐古田廣文 二百年前 伊能忠敬一行土師村で の測量 佐古田廣文 資料紹介 三岳山頂出土の壺 大槻 **♦ 757** 2015.4 B5 6p 柏原の中井氏の彫刻について 大槻 **♦ 758** 2015.5 B5 4p 愛宕神社創建四百年記念余話2 別当中川家と勝軍地蔵菩薩につ いて 増田 信武 会報編集担当の頃の思い出 増田 信武 **♦ 759** 2015.6 B5 6p 鋳造品1 梵鐘について 大槻 伸 **♦ 760** 2015.7 B5 4p 鋳造品2 鰐口について 大槻 伸 **♦ 761** 2015.8 B5 4p 緑陰講座「河内上の歴史と未来」 報告 編集者 **♦ 762** 2015.9 B5 6p 鋳造品3 福知山の鋳物師について 大槻 伸 **♦ 763** 2015.10 B5 4p 福知山藩主朽木家藩祖 稙綱侯坐像について 大槻 **♦ 764** 2015.11 B5 4p 由良川の変遷について 河波 司 **♦ 765** 2015.12 B5 4p 会員研究発表会報告 丹哥府志にみる本能寺の変 村上 政市 小野木重次の朝鮮出兵 大槻 伸 光秀奉納の石灯籠 弥栄町溝谷神社の燈籠 大槻

## ◆丹 波 丹波史談会

〒622-0042京都府南丹市園部町栄町3-3-2

上野栄二方 1999年創刊 **◇17** 2015.10 A5 85p 1000円 天神伝説と生身天満宮 上野 榮二 天神山の妖怪話と直心影流剣術奉

納額 河原 信之 ナレズシと和食の源流 湊 友三郎 須知の宿場 浅井 義久 金屏風下貼文書と『大衆文芸』 河原 信之 終戦から七〇年あのときの回想 田中 忠夫 口丹波の合戦と城郭(2) 若江. 茂 明治期の村の教育

美山町鶴ケ岡の現況 小畑

#### ◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 1至0724-28-0204 年1200円

www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

**♦334** 2015.10 B5 12p 江越間の交通路の変遷一夏の研修

旅行で木ノ芽峠を越えて 岸田 修一 戦国前期の村と地域--「クミノ郷」

議論をふまえて(2) 井田 寿邦 たそがれの泉州弁(11) 中野 恒一

**♦335** 2015.11 B5 12p 挟撃(前) 仲谷 栄一

戦国前期の村と地域一「クミノ郷」

井田 寿邦 議論をふまえて(3) 和泉の中世城郭(37) 井田 寿邦 たそがれの泉州弁(12) 中野 恒一

**♦336** 2015.12 B5 12p

消えゆく火の見櫓(警鐘台) 佐野 順三 挟撃(中) 姉川の戦い/川中島合

戦/小牧長久手の戦い 仲谷 栄一

戦国前期の村と地域一「クミノ郷」

議論をふまえて(4) 井田 寿邦 和泉の中世城郭(38) 井田 寿邦 中野 恒一 たそがれの泉州弁(13)

「第3回全国吉川交流会 in 大田 | 田村 紘一 | 古文書講座―市内にのこる身近な

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所 〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2

大阪市立中央図書館内 TeL06-6539-3333 1980年創刊

www.oml.city.osaka.lg.jp/?page\_id=871

**♦83** 2015.7 A5 90p 700円

《特集 大坂の陣400年》

豊臣期大坂城南側の様用に関する

試論-エッゲンベルク城所蔵

「豊臣期大坂図屛風」に描かれ

た景観から 内田 吉哉

描かれた大坂の陣

一月岡芳年の錦絵を中心に 曽田めぐみ 元和改元―徳川家康の国内平定官

言 吉田 洋子

史料紹介 島津誕生石物語につい

て一島津氏と住吉大社 小出 英詞 みおつくし 曽根崎 生駒 孝臣

新刊図書紹介

生駒孝臣著『中世の畿内武士団

と公武政権 川内 淳史

増田健一著『続・懐かしくて新

しい昭和レトロ家電』 古川 武志 成瀬國晴著『学童集団疎開70年

画集 時空の旅』 古川 武志

#### ◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ ィークショップ一兵内 TELO6-6931-1081

年5000円 1984年創刊

osakarekikon.cocolog-nifty.com

**◇374** (32-10) 2015.10 B5 8円

巻頭言「神のおやしろのこと」(2) 「神社と 和久 敦也

町の歴中し

平成27年9月例会報告(第349回) 「武家社会の回状(現在の回覧板)

の一例」 寺井正文氏

**♦375** (32-11) 2015.11 B5 8p 巻頭言「神のおやしろのこと |(3)

「神仏習合| 和久 敦也

平成27年10月例会報告(第350回)

「吉田松陰が矜持する思想構成

を検証する」 小林司氏 (井川)

会員講座 第18回 「芭蕉門下の 俳画」(第六回古文書講座)

中澤祐一氏 (中澤)

**♦376** (32-12) 2015.12 B5 8p

巻頭言「神のおやしろのこと |(4)

「神官と神社」 和久 敦也

平成27年11月例会報告(第351回)

「幕末の長州と伊丹」 益尾宏之

(磯崎)

平成27年度 秋の見学会(兵庫歴 史研究会合同見学会)「真田幸

村 大坂夏の陣の戦跡を歩く

案内人:白須一信氏

歴史研究会創立57周年記念 第31 回全国大会 [因幡伯耆鳥取大会 | に参加して 田村紘一氏

## ◆かいづか文化財だより テンプス

貝塚市教育委員会

〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1 Tel.072-433-7126 1996年創刊

**♦ 56** 2015.10 A4 8p

紀州街道沿いの道しるべ 捕鳥部 万墓ならびに犬塚道程標/八大 龍王社道標/紀州・粉河街道分 岐点道標/妙見山道標/八品神 社道標

千石堀城跡の発掘調査その2

古文書をひも解く 牛をめぐる裁 判~「黒牡丹浪花論記(くろぼた んなにわろんき)|

40

(和久)

古文書 「江戸時代の村掟」/古 文書講座48(通算227回~231回) 開催中です テーマ「江戸時代 の土地売買と請け戻し」 学校の先生、わが町貝塚の歴史に ついて学びを深める

#### ◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921 年5000円 1981年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/

**◇60** 2015.10 B5 112p 1500円

讃岐の香西一族の動向(上) 宝賀 寿男 土佐藩士の安原氏とその一族 安原 繁俊 珍姓のルーツ(25) 中田みのる 肥後(熊本藩士)の山形氏について

(3) 相良 一夫

西国街道まち歩き(2)

神戸長田から芦屋打出まで 須貝 隆弘 石田三成と越前の縁戚たち(2) 眞野 幹也 日本人の珍姓マップ(2) 畠山 一鶯 菊池(地)氏の東国への移住につい

て 菊池 利行

長篠の戦一設楽が原の決戦 慰霊

 祭440年に参加して
 秋山 通子

 「松帆銅鐸」見学記
 宇川田鶴子

薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話

刀鍛冶の里(7-2) 浪平 博司 橘一族の盛衰 川村 一彦 おまけ 「花燃ゆ | を1.5倍楽しむ法 (馬原)

#### ◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 1元079-424-0921 年5000円 2002年創刊 www.geocities.jp/kakenkyou/

**♦54** 2015.10 B5 8p

東寺百合文書が世界記憶遺産に 馬原 浩一 家系研究協議会

平成27年度 夏の例会報告 (馬原) 珍名さんいらっしゃい(48) 眞野 幹也

#### ◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7 階 IELO6-6775-3686 年2200円 ◇**791** 2015.10 A4 10p 300円

辺石田 成年五條の古墳と遺跡松田 真一

**◇792** 2015.11 A4 8p 300円

南海高野線の鉄道構造物とその周

巨大磨崖仏をたずねて 狭川 真一 河内堅上と竜田古道 天野 忠幸

◇**793** 2015.12 A4 8p 300円

高田の亥の子暴れ祭 武藤 康弘

木幡と伏見・桃山丘陵を歩く

一字治川右岸の社寺と古跡 泉森 皎

#### ◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 Tet.06-6652-4511 webl.kcn.ip/kojyo\_tomonokai/

**♦ 562** 2015.10 B5 22p

越前 一乗谷朝倉氏館を探訪しま

す(11月・第625回例会)

9月・第623回例会の報告 近江彦

根城 登り階段を中心に 案内

講師:下高大輔氏 担当幹事:

水品弘樹・藪西旭氏

会員通信

藪西 旭

遠州天竜の城(鳥羽山城・二俣

城) 高菅 純子

遠江鳥羽山城跡・二俣城跡の想

像鳥瞰図 川端 義憲

新聞記事紹介

**♦ 563** 2015.11 B5 22p

美濃 雨宮山陣城と関ヶ原大谷吉 継陣所を探訪します(12月・第 626回例会)

10月・第624回例会の報告 淡路 洲本城 石垣と登り石垣を中心

に 案内講師:周藤匡範氏 担

会員诵信

朝倉氏一乗谷城·山城行 川端 義憲 新聞記事紹介

**♦ 564** 2015.12 B5 22p

当幹事: 藪西旭氏

日本古城友の会・総会と研究発表 (1月・第627回例会)

11月・第625回例会の報告 越前 朝倉氏一乗谷館 担当幹事:小 川実・中西徹氏

会員通信

「渇え殺し」の鳥取城 高菅 純子 「歩こう会」との高取城見学 水品 弘樹 新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円 1988年創刊 homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

**♦333** 2015.10 B5 12p

継体・欽明朝の内乱はあったのか

水谷 千秋

藪西 旭

歴史講演会のお知らせ〜宿場町枚 方考える会 創立三○周年記念 講演会〜 平成27年11月15日 河内国丹比郡の史跡を訪ねる 古高 邦子

◇334 2015.11 B5 16p
五・六世紀の日韓関係一前方後円

墳・倭系遺物群から考える 柳本 照男

**♦335** 2015.12 B5 18p

雄略朝~継体朝における九州とヤ

マト政権 宇野 慎敏 兵庫県小野市の史跡を訪ねる 山口 久幸 勝部遺跡収蔵庫の特別公開 小川 滋

◆歴史考古学 歴史考古学研究会 〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16 奥村隆彦方 Tat072-331-6679

年3000円 1978年創刊

**♦71** 2015.11 B5 126p

キリシタン受容と展開一墓碑から

見た禁教期の破壊(隠匿)と共存

大石 一久 稲荷神社本殿と諸職人の作料 東野 良平 埼玉県立歴史と民俗の博物館の韓

国梵字資料 高正龍/濵崎範子 海を渡った光明真言石碑 松永 修輔

鼓 松波 宏隆

『歴史考古学』1号~70号 総目録

朝鮮時代の梵字を有する銅鐘・金

#### ◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内 Trt.078-803-5565 年1000円 siryo-net.jp

**♦80** 2015.11 A4 12p

巻頭言 史料ネット20年から水損 資料応急処置ワークショップの

10年を考える 吉原 大志

2015年9月 関東·東北豪雨災害

「関東・東北豪雨災害」に際し ての被災資料保全活動へのご 支援のお願い

レポート 常総市役所における 水損行政文書レスキュー活動

について 小野塚航一・加藤明恵

レポート 2015年9月茨城県に

おける豪雨災害について 天野 真志

2015年度歴史資料ネットワーク総 会・シンポジウムの記録 参加 記 シンポジウム「被災資料保 全活動のひろがりを考える | に 参加して

松本 充弘

岩手県大船渡の東日本大震災被災 資料の受け入れとクリーニング 作業

兵庫県丹波市市島町における水捐 史料修復ワークショップの実施

前田 結城

2004年台風23号被災歴史資料クリ

ーニング作業 吉原 大志

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会 〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12 TELO79-442-0658 1986年創刊 **♦68** 2015.11 B5 10p 加古郡一色村・今福村の年貢免状

松下 正和

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要 〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16 総合文化センター7階 TELO6-6482-5246 1971年創刊

www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp **◇115** 2015.10 A5 194p 850円 グラビア 尼崎藩主青山幸督福山 上使の節行列控え

『住吉大社神代記』の神領記述の

歷史性 高橋 明裕

室町期尼崎における材木商人に関

する新史料 大村 拓生

四三号線公害対策尼崎連合会座り

込み日誌の翻刻作業について 久保 在久 史煙 尼崎牛乳について 溝下 順一 誌上レファレンス 地域研究資料館 尼崎藩城下町絵図の翻刻作業 河野 未央 平成27年度社頭の言葉より(2) 田邊 竹雄

史料紹介

史料編 尼崎の古代・中世一史 料と研究 連載第2回 尼崎 市史古代・中世史料補遺(2)

天野忠幸/桶口健太郎

研究編 尊経閣文庫所蔵の杭瀬

庄関係文書について 尼崎市指定文化財寺岡家文書に

ついて

天野 忠幸

尼崎今昔物語について 田中 敦 『尼崎今昔物語』 データ化作業 城戸八千代

書評と紹介 沼尻晃伸著『村落か

らみた市街地形成

蒲谷 和敏

豊田 みか

#### ◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321 **♦571** 2015.10 B5 8p 10月行事 文化講演会「没後五十 年、生誕百三十年・谷崎潤一郎 と阪神間 | 講師:たつみ都志氏 西宮郵便局所の局長達 藤田卯三郎 「西宮」保存箱、玉手箱(22)

―情報公開課資料より 例会報

告、お礼

平成27年度社頭の言葉より(1) 田邊 竹雄

**♦ 572** 2015.11 B5 8p

11月秋の見学会 国産みの神々に

見守られ お香作りと人形浄瑠

璃を楽しむ 淡路旅

秋の見学会 淡路旅 御案内 武地 秀実 勝部如春齋研究ノート(1) 西宮

の絵師山本如春齋と紹介される

勝部如春齋 土井久美子

「西宮」保存箱、玉手箱(23)一情

報公開課資料より 上山口地区

の区画整理 豊田 みか

**♦573** 2015.12 B5 8p 12月行事 堀内ゑびすコレクショ ン展見学と会員の忘年懇親会/ 堀内ゑびすコレクション一凝 る・集める! 福の神大集合 勝部如春齋研究ノート(2) 百五十 年祭記念遺墨展覧会のこと 土井久美子 微笑む神々(タイ北部・東北部・

中部遺跡めぐり)ーその一 二宮 健 「西宮 | 保存箱、玉手箱(24) —情報 公開課資料より 塵埃処理場 豊田 みか

平成27年度社頭の言葉より(3) 田邊 竹雄

#### ◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 Tel.078-871-0555 年3000円 1962年創刊 **◇312** (54-5) 2015.10 A5 49p 600円 《特集 ひょうご近世史の新研究》 明石松平侯道中斬捨て異聞

一三島宿「言成地蔵尊由来」 渋谷 武弘 播磨四国八十八ケ所札所の成立に

ついて 長州藩と「兵庫御備場」(その1) 竹村 勝昌 連載企画 兵庫の戦後モダニズム

建築 第15回 西脇市民会館 笠原 一人 わが神職累代の記(10) 父のこと

(5) 悲劇前夜一ふたりの子の親、

新社務所、そして戦局悪化。 上村 武男 新聞地域版を読む 神戸新聞の文

化財記事(13年2月19日~3月24

大国正美/有吉康徳 **◇313** (54-6) 2015.12 A5 49р 600円

巻頭言

《特集 戦後70年 未来へ伝える》 内橋克人氏講演録 「戦後七〇年 を抱きしめて |~ 「再びの暗い時

代|を許さない

米軍による兵庫県空襲への迎撃 辻川 敦 「神戸元町等空襲前後写真」につ

西村 豪

尼崎市富松地域の戦時期史料につ

久保庭 萌

わが神職累代の記(11) 父のこと

(6) 悲劇の神官―戦中日記から

上村 武男

第3回落合重信記念賞に武田信一 さん 1月24日に贈呈式と記念 講演会

新聞地域版を読む 神戸新聞の文 化財記事(13年3月24日~4月22

大国正美/有吉康徳

◆LUCIFER ルシファー 水平社博物館

〒639-2244奈良県御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/

**♦18** 2015.10 A5 60p

企画展・特別展

第15回企画展「性と生~多様な

性のありようを考える~ | を

開催して 佐々木健太郎

第18回特別展「全国水平社創立

宣言を世界の記憶に」を開催

1.7 駒井 忠之

#### **公開講座報告**

2014年度第1回公開講座「水平 社運動の諸潮流 | 講師:朝 治武さん

2014年度第2回公開講座「セク シャルマイノリティの人権

講師:日高庸晴さん

特別報告 アジア太平洋地域ユネ スコ記憶遺産に「水平社と衡平

社 国境を越えた被差別民衆連

内橋 克人 帯の記録 を申請

守安 触司

#### 事業報告

第6回(2015年度) 奈良人権文化 選奨表彰 2015年度「おもいやりショート レター」各部門賞を表彰

#### ◆国際能野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 Tbl.0735-23-3368年3000円 2005年創刊

◆24 2015.11 B5 6p 国際熊野学会発足十周年一熊野地域の大会を振り返って 平成16 年度設立総会/平成17年度大会「なで今、熊野なのか〜世界遺産一周年を迎えて〜」/平成19 年度大会「熊野古道伊勢路の魅力」/平成21年度大会「近代文学と紀伊半島」/平成25年度大会「近代文会「伊勢路の観音信仰と巡礼」松本 純一立山信仰の諸相について 米原 寛

奥三河の「花祭 | より「熊野信仰 |

を考える 伊藤 茂樹

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会 〒649-6258 和歌山県岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊 http://wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp ◇69 2015.11 A5 56p 稲掛大平『玉鉾百首解』と玉津島

社高松房雄 藤本清二郎

18世紀中期、橋本町方の板問屋争

論笠原正夫給人取米の知行押(上)廣本満有田市得生寺所蔵「中将法如御一<br/>代画伝」について寺西貞弘

動向 2015年度和歌山県内展覧会 情報

中国・四国

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28

## ◆宇喜多家史談会会報

光珍寺内 Tm:086-222-2028 年2000円 2002年創刊 ◇56 2015.10 A4 10p 松田氏家譜と宇喜多氏 出宮 徳尚 宇喜多秀家と豪姫の家族の消息 皆木 休耿 金沢の樹正院屋敷地について 大西 泰正 物語直家記伝 西大寺辺の城 第27回 自立(4) 山重十五郎 会員サロン 第七回戦国の貴公子 宇喜多秀家☆フェス「宇喜多軍 大行列」

◆岡山藩研究 岡山藩研究会 〒169-0051東京都新宿区西早稲田 早稲田大学文学部 紙屋研究室内 blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwaseda/ ◇76 2015.10 B5 12p 〈第40回全体会の記録〉 2015.3.14 報告要旨 慶応期秋元家における 奏者番手留の分類と集約 吉川紗里矢 参加記

吉川報告「慶応期秋元家におけ る奏者番手留の分類と集約」 を聞いて 泉 正人 吉川紗里矢氏のご報告を聞いて

大森 映子

◇77 2015.11 B5 10p
〈第23回総会の記録〉 2015.8.1
報告要旨にかえてーレジュメ抜粋
日光社参記録と大名文書 泉 正人参加記

泉正人「日光社参記録と大名文 書」を拝聴して 吉川紗里矢 泉正人氏報告へのコメント 椿田有希子

#### ◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波俊成方 年4000円 okayamaminzokugakkai.web.fc2.com ◇215 2015.11 B5 4p 島村知章の墓所 その後 次田 圭介 新刊紹介 立石憲利・森俊弘(編 著)『ひるぜんの民話―真庭市・ 美甘栄枝の語り―』 学会記事 御影史学研究会との合 同発表会、民俗を歩く会、11月 例会報告

・45回両山氏俗字云真について (公募~自薦・他薦) - 吉原 - 『

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8 ℡084-953-6157 bingo-history.net ◇186 2015.10 A4 24p 郷土史の勧め

一備陽史探訪の会の役割 田口 義之 旧芦田川左岸堤防の謎 瀬良 泰三 1枚の写真から

ギョッとする地名 文・写真 山本典子 創立35周年記念事業ぶらさがり企 画 備陽史探訪の会公認ゆるキ

ャラ1号 決定!

古墳講座

埴輪をめぐる古墳社会(1) 網本 善光 近世福山の歴史講座 福山城下町

(3) 第三章 城下町の発展(前)

高木 康彦 備後史談 終戦七十年回顧(2) 根岸 尚克 辻堂百景(3) 福山市東中条「地 蔵大士堂・弘法大師堂・天王地 蔵堂」 秋山 由美

郷土探訪 松永塩田の痕跡

入川、堤防跡等 河本 正二

ワンショット・レポート~リレー 講演会&暑気払い

郷土探訪 郷土探訪 備後の道を 歩く3 尾道北部(美ノ郷町・木

ノ庄町)の辻堂を訪ねて(前) 岡田宏一郎 山城レポ 越前寺院城郭

白山平泉寺の怪

末森 清司

新備後風土記 その3

月山城 世羅町堀越

会員便り 日本遺産の街・尾道 後藤 匡史 尾道の女性 後藤 匡史

ワンショット・レポート~ぶら探

訪33東町界隈

備陽史研究『山城志』第23集 絶 賛販売中! 1冊1200円 中国 新聞2015年(平成27年) 7月30日 (木)福山版、山陽新聞2015年(平成27年) 8月6日(木) 備後版 ワンショット・レポート~松江城 と城下町をめぐる

12月バス例会のお知らせ「上下町 を訪ねて」 近世近代史部会 種本 実 ◇187 2015.12 A4 26p

中世史料に見える備後の山城 田口 義之 1枚の写真から これも一つの歴

史!? 「やまごん出没の地点」

文:写真 山本典子

調査報告 中世石造物の調査報告 辻堂百景(4) 尾道市御調町昔

「横峰地蔵堂|

秋山 由美

論考 消えた旧山陽道を探る一参

勤交代の道と秀吉の通った道 瀬良 泰三 (歳末のごあいさつ) 備陽史探訪

の会 会長田口義之・役員一同 事業報告

創立35周年記念行事の報告 備陽史探訪の会 創立35周年行事 の模様を伝える3紙一山陽・中 国・毎日

備陽史探訪の会 創立35周年記念 事業「中世石造物調査」の報告 書発刊を伝える4紙一朝日・中 国・山陽・産経

近世福山の歴史講座 福山城下町

(4) 第三章 城下町の発展(後

編) 髙木 康彦 備後史談

榎木峠4 備後天領一揆 根岸 尚克 備後百景

絵の溶け込む町・吉舎町 山口 哲晶 備後史談 地名の由来を考える(1)

辻堂を訪ねて(後) 岡田宏一郎 1枚の写真から

狛犬ならぬ狛猿!? 文·写真 野母寿子 山城レポ

彦根の山城 平田山城跡 末森 清司 大分便り 宇佐神宮と出雲大社は、

なぜ二礼四拍一礼か 後藤 匡史 特報!

「円形透かし穴」 土器出土 野母 寿子

#### ◆芸 備 芸備友の会

〒731-0135広島市安佐南区長東1-4-12-10 小都隆方 1973年創刊

**♦45** 2015.10 B5 136p

《特集 広島県考古学の現状と課題3》

〈芸備友の会第19回例会報告〉

「広島県考古学の現状と課題3|開

催の経緯と趣旨 小都 隆 旧石器時代研究の現状と課題 沖 満久 縄文時代研究の現状と課題 沖 満久 弥生時代研究の現状と課題 加藤 光臣 古墳時代研究の現状と課題 桑原 隆博 古代研究の現状と課題妹尾周三中世研究の現状と課題沢元保夫

近世研究の現状と課題 高下 洋一 座談会報告(要旨) 芸備友の会

**♦46** 2015.12 B5 66p

「考古学から見た郷土の歴史」講

座の報告 史跡・二子塚古墳第

5次発掘調査概要 内田 実 竜山石製石棺からみた二子塚古墳

の造営 脇坂 光彦

福山市神村町西山西窯跡および採

集資料の調査研究 安間拓巳/八幡浩二 手島智幸/渡邊光恵

講演会 「広島県の遺跡は今」講 演会・シンポジウムの報告

テーマ『中世遺跡の調査と保存 ・活用』 芸術

講演会・シンポジウム開催の報

告 芸備友の会 中世遺跡の調査と保存・活用 松下 正司 草戸千軒町遺跡の調査と博物館

鈴木 康之

史跡吉川氏城館跡の調査と遺跡

整備 佐々木直彦

石見銀山遺跡の調査と保存・活

用 新川 隆 座談会要旨 松下正司/鈴木康之/佐々木 直彦/新川隆/司会·小都隆

遺跡・文化財の動向

-2015(平成27)年1月~11月 脇坂 光彦

#### ◆芸備地方史研究

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島 大学大学院文学研究科日本史学研究室内 ™1082-424-6643 年3000円 1953年創刊 ◇298 2015.11 A5 28p 600円 史料紹介

備後安国寺住僧歴名について 渡邊 誠

動向

新聞記事から(2012年1月~12月) 広島県の地方史研究

史跡をあるく 霹靂神社 渡邊 誠

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会 〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円

◇295 2015.10 B5 12p 100円 今月の各地

歴史観光ガイド体験記 小森キヨミ H27年度総会記念 網本善光先生

講演「三原の古代史をさぐる」

(要旨1) 鈴木 健次

広島県三原市磨崖和霊石地蔵(8)

-- 小早川茂遠と念心 福井 万千 とくじゅまる物語 拾潰1

「幼少期のエピソードが無い」 下西 勝彦 ◇296 2015.11 B5 12p 100円

今月の各地 水田の消滅 寺迫 保夫 H27年度総会記念 網本善光先生

講演「三原の古代史をさぐる」

(要旨2) 鈴木 健次

広島県三原市磨崖和霊石地蔵(完

結編) 一小早川茂遠と念心 福井 万千 「とくじゅまる物語| 完結に当た

って事務局編集委員会

とくじゅまる物語 拾遺2

「枕草子と大江流軍学書」 下西 勝彦 ◇297 2015.12 B5 12p 100円

今月の各地 みはら歴史と観光の

会の石柱について 正兼 鐵夫

H27年度総会記念 網本善光先生

講演「三原の古代史をさぐる」

(要旨3) 鈴木 健次

平成27年度レキカン秋の研修旅行「毛利両川の吉川氏ゆかりの

地を訪ねる」に参加しての感

想文

「吉川氏の史跡めぐり」に参加

して
会山
幸三

「レキカン秋の旅行行ってきま

した」 津島 敏子

吉川元春館跡を訪ねて 山根 光博

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口県山口市後河原150-1 山口県文書館内 Tm.083-924-2116

1954年創刊 www.vsflh.ip

**♦ 114** 2015.10 A5 82p

秋穂浦の難船事故処理について 石川 敦彦 萩藩主家法要における一門の代焼

香一特権意識の形成と否定 根本みなみ 地下上申宇佐村絵図の作図方法 西尾 良司 小早川牢人裳懸氏にみる由緒と長

船清光 田窪 昭夫

民衆の長州びいき一恐獅子にみる

京阪地方の世論 石永 雅子

歴史散歩 萩藩の将棋指し「真浦」

について 山本 明史

地方だより

山口県地方史関係文献目録/地方 史文庫·受贈図書目録

◆史 窓 徳島地方史研究会

〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井 1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806

**◇45** 2015.3 A5 162p 1389円

《第36回公開研究大会特集 吉野川流域の開発と治水》

古代・中世阿波の船着き遺構と流

通·交通 鳥田 豊彰

吉野川下流域を拓いた上方の人々

一三嶋屋と藤井氏についての再

老 井上 伸一

近世吉野川における河川技術と視

高田 恵二 吉野川の治水と「八ケ村堰訴訟」立石 恵嗣 吉野川の明治以降の治水(堤防)対 篅 松尾 裕治 資料紹介 大原呑舟 《阿波十二ヶ 月図画帖》について 小川 裕久 書評 三宅正浩著『近世大名家の 政治秩序』 宇山 孝人 史窓のひろば 2014年8月の台風 災害における「歴史資料保全ネ ットワーク・徳島 の活動 町田 哲 徳島県地方史研究文献目録(2013 年10月~2014年9月)

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより 〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26 TeL088-873-0406 2000年創刊 yamauchi-zaidan.jp **♦47** 2015.9 A4 10p カピタン書状 二代藩主山内忠義 宛 元和2(1616)年9月25日 縦

30.9cm 横44.9cm 冨井 言葉の重み 資料館二○年の歩み一「調査研究

事業 | 振り返って 藤田 雅子 思い出すままに… 吉岡 郷継 御道具根居をよむ(8) 「蔵のうち

そと、旅のあとさき」 屋本 師子 新 研究の手引

館外で閲覧できる山内家資料 藤田 雅子 整理と保存(47) 「機械表装」の

普及と正しい活用の仕方 田井東浩平 古文書への招待 土佐藩の分限牒

> 片岡 副川

十佐中の人々

武藤善右衛門好晴(?~1867) 片岡 古文書基礎知識 女筆 古賀 康士 土佐の○ 地域とともに 連携と

協力、高知市中心部との連携 筒井 聡史 お世話になった人々

繁藤雅陽会·南国雅龍会 中屋 真理 「広報誌 | 大保 和已

まなびのひろば

夏休み子ども教室 中屋 真理 受付だより ミュージアムグッズ

の通信販売 大平 悦子

路傍の歴史 旧山内家下屋敷長屋

門前の坂道 古智 康士

#### ◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎方 Tel.088-875-6671 1984年創刊 **♦184** 2015.11 B5 65p 表紙説明 高知県でここだけ 生麩店(愛宕町二丁目) 松下 政司 グラヴィア 「浜川砲台」「ミニ33 観音 | 「猪野々から | 「仁井田神

## 社丨 談話室

年寄りの話 瀬戸 光 龍馬の脇差 岩崎 義郎 スマホ依存症 鍋鳥 静一 老後の生活で思うこと 符原 保博 泉鏡花の挿画家

公文菊仙のこと 千頭 將宏 前田投手 松本 紀郎

ノーベル賞につながる浅川範彦の

業績など 広谷喜十郎 野口雨情作詞の童話など(2) 江戸幕府の朝廷と寺社の取り扱い

笹原 保博 龍馬の剣術修行と千葉佐那(2) 岩崎 義郎

秦の昔話(45) 七つ渕の巻(『こう ち童話』から) 二番淵の怪 永野美智子 清流物部川と美良布の幼少年期(3)

千頭 將宏

大穴山 松本 紀郎 楠瀬大枝「歌 |(1) 和田 豊子 山路洋さんを偲んで 原田 英祐 戦史26 小野田寛郎少尉

戦後三十年 ルバング島攻防 毛利 俊男 鍋島 静一 「海南行|

昭和二十年代 市営球場での野球

観戦 千頭 將宏 江戸幕府の寺院への統制、圧迫 毎原 保博 猪野々から 今戸 道子 田中小代子さん

「今のわたし 田中小代子| (松本) 所感雑感 輝ける学舎 主婦田中 小代子(平成12年2月2日、高知 新聞掲載)

元親の「大河ドラマー 松本 紀郎 浜川砲台の復元 彦坂 徹 日月潭(「秦史談 | No.59から再掲) (松本)

#### 九州・沖縄

## ◆季刊 邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハウス3階 TEL092-643-7075 年5400円 1979年創刊

**◇127** 2015.11 A5 184p 1250円 巻頭言 古代からのメッセージ 河村 哲夫 考古学から観た邪馬台国大和説へ

の疑問(2) 関川 尚功

時事古論 第1回 わが国最古の青

銅鏡「多紐鏡」の鋳型の出土 安本 美典 〈総力特集 奴国の時代 第1弾!〉

奴国の時代(1) 編集部 須玖遺跡群における近年の調査に

ついて 森井千賀子 奴国発掘 常松 幹雄 福岡市博物館特別展 新・奴国展

~ふくおか創世記~ 奴国と金 印の時代をモノ語る考古学資料 木簡と(大化)改新の詔 新連載 第1回 物部氏と尾張氏の

が一堂に集結!!

系譜~上代古典の神・氏族・自

然~ 自然神から人格神へ 志村 裕子 新連載 第1回 考古学入門

弥生式土器のはじまり 澤田 康夫 世界遺跡巡り(9)

ネアンデルタール人の故郷 井上 修一 ブッダへの道(13)一法顕が見た五

世紀初頭のアジア 河村 哲夫 筑後川流域の民話 川野栄美子 オトナ女子のための古代史サイト

藤江かおり

細井 実人

森本 幹彦

花田 達郎

#### 書 評

『真贋論争「金印|「多賀城碑|」 著者 安本美典 河村 哲夫 『にっぽん全国 土偶手帖』

◆九州史学 九州史学研究会

著者 誉田亜紀子

〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部日本史学研究室内 Tel092-642-2375 1956年創刊 www2.lit.kvushu-u.ac.ip/~his\_iap/kvushusigaku/

**♦171** 2015.10 B5 76p 南北朝後期菊池氏の政治的動向 山本隆一朗

天文・弘治年刊の遺明船と種子島 一大友氏遣明船団と「鉄炮伝来|

橋本 雄

一八世紀後期における東向寺勤番

制と倭館館守戸田頼母 藤本健太郎 彙報 古代史部会の活動報告 (竹井)

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052長崎県五島市松山町604-10 筑田俊夫方 TELO559-74-2667

♦100 2015.11 A5 216p

《創刊100号記念号》

「浜木綿 | 創刊百号にあたり 筑田 俊夫 浜木綿百号達成を祝って 松本 作雄 祝 百号達成 浜木綿と私 高井良 武 特別寄稿 調查報告(2)

五島における海軍特攻基地 深尾 裕之 戦後七十年を生きるということ 大坪 昇平 戦後70年・決して忘れてはならな

いもの 山中 彦昭 草の根交流の小さな芽、どう育つ

「こしょくれ」

一人诵りの多い風呂場 石田ちとえ 「自然」という言語認識の定着渦

程についての一考察(下) 中里 和彦 追憶 小島 清 「ふるさと五島の宝と課題」をみ

んなのものに(中) 片山 圭弘 『浜木綿』・第100号発行記念に寄

す/「浜木綿|第1号~第99号総

才津 玉樹 目次(敬称略)

五島を通った遺唐使(3)

- 多治比氏にみる遣唐使の世襲

化と五島の関連 櫻井 隆

西を目指した「黄金の海」ラッシ

ユー五島は I ターンの先進地 内海 紀雄 そのほか・トピックス 浜木綿

100号記念座談会(平成27年7月

22日) 佐々木祥一/長谷靜寛/内海紀雄 /松本作雄/宮前藤一/筑田俊夫

/小田龍晃/司会・永治克行

コラム 二階の仕事/小諸の虚子

先生/錯覚

#### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8 下地和宏気付 1至0980-72-9963 1977年創刊

**♦211** 2015.11 B5 8p

11月定例会レジュメ 新里西元島

遺跡の発掘調査―グスク時代に

おける掘立柱建物跡への考察 久貝 春陽

宮古郷土史研究会40周年・宮古研

究第13号発刊祝賀会

来間島の戦争遺跡

郷土史部門(宮古郷土史研究会)

「フォーラム戦後七○年と宮古」

下抽 和宏 市内戦争遺跡の巡検 久貝 弥嗣 「平成二五・二六年度新収蔵品展」

與那覇史香

発掘調查速報 尻並第二遺跡 久貝 春陽 「郷土の歴史と文化講座 | 開かれる

根間 郁乃

2015年度第2回 地域史協議会研修

会開催 久貝 弥嗣 戦後70年、又も軍事基地化への胎

仲宗根將二

◆宮古研究 宮古郷土史研究会

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8 下地 和宏気付 Trt.0980-72-9963 1978年創刊

**♦13** 2015.12 B5

島始神話から宮古の「始源」へ 宮川 耕次 近年の発掘調査にみる宮古島考古

学の展望 久貝 弥嗣 宮古のグスク時代における掘立柱

建物跡への考察 久目 春陽

宮古のグスク時代における階級社

本村麻里衣

宮国元島と「トゥクル元島」

一宮国村を通して考える 下地 和宏 《宮古島地名雑考》「地名」を地形

と伝承で訪ねる 下地 利幸 仲宗根將二 宮古ゆかりの人びと

ネフスキーあて国仲寛徒翁書簡・

その他 本永 清 |

宮古島市総合博物館収蔵資料の紹

介一平成21から26年度分 與那覇史香

フォーラム「戦後七十年と宮古」

基調報告 戦後七十年、戦後宮

古の歩みから考える 仲宗根將二

報告一 戦争遺跡の調査を通し

て学んだこと 久貝 弥嗣

報告二 宮古の子供たちの未来

を守るために今考えること 山里 智子 報告三 戦後七十年、宮古の自

然と文化考える 下地 和宏 金志川豊見親屋敷跡について考え

3 久貝 弥嗣

平成二十七年度沖縄考古学会研究 発表会「宮古の考古学がおもし

ろい | を終えて 山本 正昭 近年の戦争遺跡調査の動向 久貝 春陽 クイチャー今昔 下地 和宏 「文学館」の見える(?)風景 仲宗根將二 生き甲斐見つけ、これからも青春

久貝 愛子

活動報告 宮古郷土史研究会 2014~2015年度のあゆみ 久貝 弥嗣

## 寄贈図書紹介

#### ◆河南町の板碑

佐藤雄一著(〒986-0833 宮城県石巻市日和 が丘2-12-3 TELO225-95-3813) 2015年7月 A 4 115頁

平成10年(1998)、河南町教育委員会によって 計画された「河南町の文化財 | 発刊の一環と して行われた町内の板碑調査の成果を中心 に、その後中野祐平氏・門間康明氏によって 確認されたものも含め、板碑84基を収録す る。東日本大震災の津波被害を免れた拓本資 料とともに、トレース図や碑文などを詳細に ◆下妻市文化団体連絡協議会

記す。河南町の板碑/まとめ/河南町の板碑 /河南町板碑·地区別/河南町板碑·年代順

## ◆保科正之

真壁俊信著(〒966-0817 福島県喜多方市字 三丁目4814 TELO241-22-5159) 精興社ブッ クサービス (〒101-0054 東京都千代田区神 田錦町3-9 TELO3-3293-3012) 2015年9月 A5 62頁 12000円

保科正之と会津の歴史について、特に「十津 大明神 | として猪苗代の土津神社に祀られた 会津神道の創設者としての側面を、『土津霊 神碑文』などの史料を通して描き出す。保科 正之 事績の一端/保科正之と磐梯山/土津 大明神の成立/土津霊神の碑文/土津霊神碑 文 逐条解釈/第二代 保科正経 鳳翔院殿 前拾遺会陽太守宜山体公居士/第三代 松平 正容 徳翁令神/第四代 松平容貞 土常霊 神/第五代 松平容頌 恭定霊神/第六代 松平容住 貞昭霊神/第七代 松平容衆 欽 文霊神/第八代 松平容敬 忠恭霊神/第九 代 松平容保 忠誠霊神/第十代 松平喜徳 /第十一代 松平容大/会津藩主松平家墓地

#### ◆古文書解読集8

守谷古文書サークル編・刊(15L0297-45-2161) 2015年11月 A4 298頁

茨城県守谷市において市内に保存されている 古文書の解読を中心に活動している守谷古文 書サークルの古文書解読集第8集。江戸時代 に実施された4回の大規模な御鹿狩のうち、 享保11年(1726)の第2回に関する御用留「小 金野御鹿狩御用留帳 | と、嘉永2年(1849)の 第4回「小金御鹿狩御用留」の2件の鹿狩に関 する齋藤家文書(守谷町)を、影印版と解読 文・読み下し文、用語の解説を付して収録す る。なお、寛政7年実施の第3回「寛政6年 (1794)小金野御鹿狩御用留帳 | については、 「古文書解読集 | 第5巻に収録されている。

#### 創立40周年記念誌

下妻市文化団体連絡協議会編(〒304-0056 茨城県下妻市長塚乙77 下妻市ふるさと博物 館内 Tet.0296-43-3418)2015年10月 A4 51頁 下妻市を中心に活動する文化団体(現在73団 体)の相互交流を目的とした下妻市文化団体 連絡協議会の創立40周年を記念した、これま での活動記録集。ごあいさつ(國府田晋)/祝 辞(稲葉本治)/祝辞(飯塚薫)/祝辞(青柳正 美)/祝辞(飯塚秋男)/祝辞(鈴木賢一)/祝 辞(小島亮)/創立40周年記念講演 演題「自 分を見つめる〜歩くこと、生きること」講 師:家田荘子/歴代会長/名誉会員/文団連 活動年譜/下妻の文化の発行/40年間の活動 記録/加盟団体名簿/40年の変遷

◆関ヶ原合戦と那須衆 大田原市黒羽芭蕉の 館平成27年度企画展図録

大田原市黒羽芭蕉の館・刊(〒324-0234 栃木県大田原市前田980-1 Tm:0287-54-4151) 2015年10月 A4 84頁

黒羽芭蕉の館の平成27年度企画展(10月28日~12月13日)の展示図録。徳川家康四百回忌にあたることに因んで関ヶ原合戦を取り上げ、近年の研究成果にも学びながら、合戦の展開と那須衆の動向について紹介する。ごあいさつ/例言/カラー図版 豊臣政権・徳川家康と那須衆、会津攻めと「小山評定」、大田原城と黒羽城の防備態勢、徳川氏への忠誠表明と情報収集活動、関ヶ原合戦と関山合戦、関山合戦の後、論功行賞/資料解説/古文書の釈文/関ヶ原合戦と那須衆(新井敦中)

#### ◆我孫子の地名と歴史

一わが町の字誌(あざし)

我孫子市史研究センター編(〒270-1132 千葉県我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 Tell 04-7149-6404) 崙書房出版(〒270-0164 千葉県流山市流山2-296-5 Tell 04-7158-0035) 2015年10月 B5 328頁 2000円

「市民の手で創ろう我孫子の歴史」を標語として、1975年11月以来活動を続けている我孫子市史研究センターの40周年記念出版。2003年の総会で『大字誌(町丁誌)』編集の構想が採択されて以来、会員の共同研究課題として研究会での発表や研究講座を重ねてまとめられた、我孫子市内の大字(町丁)117か所、小字450か所以上を網羅した「字誌」研究の成果である。

#### ◆市民による我孫子市史研究

一我孫子市史研究センター四○周年記念誌 我孫子市史研究センター編 つくばね舎(〒 277-0863 千葉県柏市豊四季379-7 1至04-7144 -3489) 2015年11月 B5 279頁 2000円 我孫子市史研究センターの40周年記念誌。 慶祝 市史研究40周年(柴田弘武) / 我孫子 市史研究センターの創立40周年を祝して(安 藤義雄)/これからも我孫子市史研究の先導 役に(美崎大洋)/創立40周年によせて(石塚 肇) / 座談会 我孫子の近・現代の変容-市 民による歴史研究の課題を探る(石井英朗・ 小能興爾・柴田弘武・安本正道・荒井茂男) 「研究論文集」 我孫子の地勢(長谷川一)/平 将門・藤原秀郷団説考(三谷和夫)/中世の城 (谷田部降博)/幕藩体制と「内川廻し」水運 (石井英朗)/我孫子市域の近世村々と領主支 配(金成典知)/江戸尾張町二丁目と井上佐次 兵衛家(品田制子)/近江屋佐治兵衛、手賀沼 開発に着手す(岡本和男)/享保期における湖 沼干拓(山崎章藏)/我孫子市におけるアンバ 大杉信仰(近江礼子)/血盆経印施の一資料 (椎名宏雄)/寛保三年手賀沼漁猟藻草出入 (山口繁)/布佐村一件訴訟顛末(清水千賀子) /明治維新と村の神々(飯白和子)/杉村禁人 冠と「三田新聞」(美崎大洋)/我孫子での白 樺三人衆~柳宗悦・志賀直哉・武者小路実篤 (荒井茂男)/大町桂月と昭和初期の我孫子文 士たち(越岡禮子)/榎本家営業日誌から見た

昭和恐慌の影響(原田慶子)/「北新田」の開拓(中澤雅夫)/身近な資料から学ぶ郷土の歴史(茂木勝己)/白山の土地所有の変遷(金井準)/乳の潮(宮川速水)/日本建築のあけばのと東葛建物保存状況(藤井吉爾)

市史研究四○年の歩み/立ち上げと独立の時 市史研究の立ち上げ(茂木勝己)、市史研独 立のころ(三谷和夫)/回想記(相津勝、東日 出去、安藤邦臣、岩崎孝次、江澤由紀子、大 井正義、小澤富士栄、大杉栄一、加藤直道、 河井弘泰、後藤美鈴、小林隆夫、逆井萬吉、 佐々木豊、佐藤順、佐藤章、篠崎吉次、関口 一郎、竹森眞直、田中由紀、千葉美雪、土井 玲子、中川健治、中川満、長谷川秀也、藤掛 省吾、古内和巳、松本庸夫、森春枝、柳町敬 直、山本包介、吉田茂寿、吉田とし子)/各 部会の歩みと現在/本会を導いてくださった 人びと/歴代会長・副会長・事務局長・顧問 /アルバム・市史研創設のころ/年表/我孫 子市史研究センター既発行文献一覧/コラ ム・我孫子市中散策(東日出夫、金成典知、 谷田部隆博、中澤雅夫)

#### ◆郷土ゆかりの人々

一地方史誌にとりあげられた人物文献目録 飯澤文夫監修 日外アソシエーツ(〒143-8550 東京都大田区大森北1-23-8 第3下川ビル 『EnO3-3763-5241) 紀伊國屋書店発売 2016年1月 A4 954頁 18500円 1997年1月~2013年12月に発行された地方史研究雑誌・地域文化誌及び地方史関係記事が比較的多く掲載される全国誌約2,200誌から、19,877人に関する人物文献(伝記・回想・人物論・年譜・書誌等)46,729点を収録。各文献の書誌事項は、飯澤文夫編『地方史文献年鑑』(岩田書院、1997年版~2013年版)収録データを利用。収録対象は、古代から現代までの日本人(一部日本で活躍した外国人も含む)及び特に郷土色の強い架空人物に関する文献。人 名は主たる活躍地域(都道府県別)の下(活躍地域が多岐にわたる人物は、原則として出身地)に見出し語の読みの五十音順で排列。巻末に人名索引を付す。なお、経緯などについては本誌「後記」を参照されたい。

#### ◆人類同祖ナリ・坪井正五郎の真実

一コロボックル論とは何であったのか 三上徹也著 六一書房(〒101-0051 東京都 千代田区神田神保町2-2-22 Tm.03-5213-6161) 2015年8月 A5 389頁 3700円 はじめに―本稿の目的に替えて/日本人類学 の立ち上げ(人類学を志す、モースの、そし て進化論の影響)/コロボックル論争前夜(モ ースの大森貝塚調査と導かれた人種観、三字 米吉の『日本史学提要』の意義)/横穴論と その論争(論争の経過、土蜘蛛は日本人種な り)/コロボックル論とその論争(狭義のコ ロボックル論一対人物論争とその意義、広義 のコロボックル論-坪井人種論の変遷)/日 本石器時代に「ない」とされた二つへの挑戦 (竪穴住居存否問題、日本列島旧石器存否問 題、信州諏訪湖底曽根遺跡との遭遇とその意 味、坪井の本音)/坪井の真実(坪井の事情、 真実を求めた坪井とその後)/おわりに

#### ◆東海道品川宿

品川区立品川歴史館編・刊(〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1 Tmt03-3777-4060)
2015年10月 A4 198頁
品川区立品川歴史館の開館30周年記念特別展(10月11日~12月6日)の図録。中世の港町から、江戸時代には東海道第一宿の宿場町として発展した品川宿の歴史を、品川地域を中心とした多数の史・資料で紹介する。ごあいさつ(北原進)/港町から宿場へ(中世品川のにぎわい)/宿場の成立/宿場の機能と運営/寺社と信仰/宿場の生活と行楽/品川宿を行き交う人比びと/付録 掲載史料目録

品川歷史館開館三十周年記念特別展

◆徳川水軍関係文書 戦国史研究会史料集2 小川雄編 戦国史研究会(〒182-0011 東京 都調布市深大寺北町6-44-12 丸島方) 2015年 10月 A5 143頁 1500円

戦国史研究会の活動の一環としてまとめられ ている戦国時代史料集の第2集。将軍家・徳 川一門の船手頭を構成した諸氏(向井氏・小 浜氏・間宮氏・幡豆小笠原氏・千賀氏)の関 係文書を中心に、形原松平氏・大津戸田氏、 伊勢国海商の角屋七郎次郎関係など、徳川氏 が戦国時代から江戸時代初頭に編成した水軍 の関係文書223点を編年で収録する。

#### ◆民衆史の遺産 第7巻 妖怪

谷川健一・大和岩雄青任編集 大和書房(〒 112-0014 東京都文京区関口1-33-4 TELO3-3203-4511) 2015年8月 A5 420頁 6000円 民衆中研究についての基本資料・文献を集め る大和書房創立50周年記念企画の第7回配本。 夜の闇に生息するモノたちへの畏敬の心と畏 怖感… 妖怪たちと人間界との深く微妙な関 わりの記録。江戸妖怪の競演『稲生物怪録』 絵巻をカラーで収録。妖怪のめくばせ-解説 にかえて(谷川健一)/妖怪談義(柳田國男) /妖怪学(抄)(井上円了)/日本妖怪変化史(抄) (江馬務)/山童伝承(丸山学)/ケンモンとウ バ(金久正)/稲生物怪録絵巻(谷川健一編)/ 巻頭 稲生物怪録絵巻(堀田家本)/解題(小 川哲生)

#### ◆民衆史の遺産 第8巻 海の民

谷川健一・大和岩雄責任編集 大和書房(同 上) 2015年12月 A5 587頁 6000円 大和書房創立50周年記念企画の第8回配本。 古代から近代にいたる海と日本社会の密で不 思議な関係。現世と他界の境界たる渚に生き る人々と渚で活動する生物の文化中。渚の民 俗誌一解説にかえて(谷川健一)/海の民一黒 潮の海人(河岡武春)/日本漁業史論考(抄) (木島甚久)/海民と日本社会(抄)(網野善彦) た記録。はじめに(石﨑鋳)/今井素牛之日記

/海鳥のなげき-海と魚の風土記(内海延吉) /海女(抄)(瀬川清子)/海をひらいた人びと (宮本常一)/瀬戸内海の海賊衆―天皇の国家 と海人(沖浦和光)/記録・文学に出てくる海 民像(沖浦和光)/解題(小川哲生)

#### ◆寒川町史調査報告書21

大蔵自治会文書(1)

寒川町史編集委員会編 寒川町 (〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川町文 書館 TelO467-75-3691) 2015年8月 B5 119頁

『寒川町史』資料編などで紹介しきれなかっ た特色ある貴重な資料を翻刻する調査報告書 第21集。大蔵地区の自治会長が代々引き継い できた「大蔵自治会文書」のうち、昭和16年 12月の日米開戦から昭和22年4月の町長公選 に至る時期の史料170点を翻刻する。この資 料は、第二次世界大戦中の寒川町役場からの 诵達文書などがまとまって残されていて、物 資の配給や供出、軍費捻出のための貯蓄運 動、大日本婦人会や国民義勇隊などの組織と いった、いわゆる銃後の暮らしが手にとるよ うにわかることが特徴といえる。解説 寒川 町大蔵の戦争と銃後-大蔵地区の比較相対化 をめざして(内海孝)

#### ◆今井素牛之日記

一幕末維新期・信州小布施の庶民生活 今井素牛之日記編集委員会編 今井重人(〒 381-0202 長野県上高井郡小布施町大字福原 26 Tm.026-247-3580) 2015年7月 B5 445頁 8000円

信濃小布施出身で明治期地域文化の担い手で あった今井素牛(文化元年(1804)~明治11年 (1878))の記した14年にわたる日記を解説と ともに収録。幕末の混乱期、明治初期の変革 期の社会状況がそのままにとらえられ、北信 濃の一地方の人々の日常の生活ぶりを観察し の周辺(羽原清雄)/今井素牛之日記 安政六 年、万延元年、文久二年、慶応元年、慶応三 年、慶応四年・明治元年、明治三年、明治五 年、明治六年、明治七年、明治八年、明治九 年、明治十年、明治十一年/日記の見どころ (羽原清雄)/参考文献/資料編/素牛日記を 解読して(金井清敏)/おわりに(今井重人)

#### ◆近江大森 最上氏陣屋

城と陣屋シリーズ259

上田正和著 日本古城友の会(〒577-0044 大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TRIO6-6652-4511 / 〒595-0024 大阪府泉大津 市池浦町2-9-3 川端義憲) 2015年10月 A5 36百

はじめに/近江蒲生野あたり/江戸時代近江 の支配体制/戦国大名から近世大名の最上氏 /家中騒動、大名から旗本へ/旗本最上氏近 江国蒲生郡大森に入る/交替寄合とその陣屋 /大森陣屋の規模と現状/最上氏の歴代の領 主/最上踊/最上氏の幕末から明治への動向 /版籍奉還と最上氏のその後/江戸時代にお ける最上氏の采地/あとがき

◆宇治茶ートップブランドの成立と展開 宇治市歴史資料館編・刊 (〒611-0023 京都 府宇治市折居台1-1 1至0774-39-9260) 2015年 10月 A4 80頁

宇治市歷史資料館特別展(10月3日~11月22 日)の展示図録。「日本茶800年の歴史散歩」 として日本遺産にも認定された字治茶を取り 上げ、江戸から明治・大正・昭和と宇治茶業 界が時代とともにうつりゆく姿を、さまざま な史資料をひもときながら概観する。

◆「大大阪」の面影 大阪市史史料82 大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(〒 550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立 中央図書館内 1至06-6539-3333) 2015年8月 A5 146頁 1800円

大正14年(1925)4月1日に東成郡・西成郡44か

町村を編入した大阪市の第二次市域拡張から 90年を記念して、当時の「大大阪」の諸相が うかがえる22編の随筆・評論を収録する。大 正期 大大阪の建設、道頓堀のこれから、美 術教師・榎谷徹蔵のみた米騒動、小林一三 「新聞王国専制の大大阪」、関一「都市計画に 関する新立法」、北村兼子「大阪及大阪人」 /昭和戦前期 関一「大阪特別市制案に就い て」、北市民館での志賀志那人、小出楢重 「阪神夜店歩き」、大宅壮一「大阪文化の日本 征服」、賀川豊彦「西大阪は歎く」、大大阪は しばし繁昌記、賀川豊彦「東京と大阪」、高 権三「大阪と半島人」、坂間棟治「戦時市民 生活運動を試みて「、北尾鐐之助「地下大阪」、 下村海南「大大阪に求むるもの」/戦後 織 田作之助「永遠の新人一大阪人は灰の中より - |、大阪都市協会「再刊の辞 |、岩井雄二郎 「大阪の煙」、北尾鐐之助「再建道頓堀」、鍋 井克之「大阪ぎらい物語|/解題

#### ◆景福寺とその周辺の史跡

一姫路藩と豊福寺の歴中を考える

津山邦寧著 藤沢翔吾・藤沢英治・津山邦寧 写真 景福寺山史跡保存会(〒670-0027 兵 庫県姫路市景福寺前7-1 景福寺内) 2015年7 月 A4 118百

姫路藩主松平氏・酒井氏関係者や藩校好古堂 教授など、江戸時代を中心に姫路で活躍した 人物が多く葬られている景福寺山墓地の修復 工事に伴う保存・顕彰報告書。景福寺と景福 寺山の歴史、特別寄稿 景福寺山墓地に眠る 井上元長らの功績(古西義麿)、コラム 景福 寺と景福寺山(景福寺山は大昔の船丘か、嵐 山の名の由来は?、嵐山は小寺(黒田)職降の 隠居地、活埋坑、焼け残った模造朝鮮鐘、船 場川側から見た景福寺近辺、船場八畳に選ば れた景福寺)/景福寺山とその周辺の史跡に ついて/資料・付記(景福寺山史跡地図、選 定史跡の主題別一覧、参考資料、景福寺山史 跡保存会について、参考文献一覧)

備陽史探訪の会創立35周年記念誌

◆福山の中世石造物―備陽史探訪の会 中世 石造物調查報告(1)

備陽史探訪の会編・刊(〒720-0824 広島県 福山市多治米町5-19-8 151.084-953-6157) 2015年9月 A4 70頁 1500円 昭和55年(1980)9月に創設され、「備後を中心 とした、地域の歴史を研究し、愛郷心を涵養 すること | を目的に、備後・山陽地方の歴史 の発掘と啓蒙活動を続けている備陽史探訪の 会の35周年記念出版。平成24年(2012)5月31 日から月1回行われてきた福山市内297か所の 中世石造物調査の成果をまとめる。発刊にあ たって(田口義之)/瀬戸内の石工と芸備地域 の石造物(佐藤亜聖)/調査日誌/調査記録 (第1回~第23回)/所在石造物一覧(水呑町、 熊野町、田尻町、鞆町、沼隈町、内海町、引

野町、坪生町、春日町、春日池、春日台、能

町、芦田町、駅家町、加茂町、神辺町)/調 **查地区一覧** 

#### ◆みやざきの神楽

宮崎県記紀編さん記念事業推進室・神楽保 存·継承実行委員会 2015年9月 B5 26頁 "むらまつり"に息づく200もの多様な神楽。 神楽の起源と分類(巫女神楽、採物神楽、湯 立神楽、獅子神楽)/みやざきの神楽の起り /みやざきの神楽の特徴 (地域住民による継 承、神楽の数の多さ、唱教・神歌、修験道の 影響)/みやざきの神楽分布/冬神楽・春神 楽/県内各地の神楽(高千穂神楽、日之影・ 五ヶ瀬の神楽、諸塚神楽、椎葉神楽、米良の 神楽(銀鏡神楽、尾八重神楽、村所神楽)、高 鍋神楽、美郷町の神楽(神門神楽)、宮崎平野 の神楽(生目神楽、船引神楽、新田神楽)、日 南の神楽(潮嶽神楽、日南の神楽に残る薩摩 系神楽の痕跡)、高原の神舞(祓川神楽、狭野 神楽)、県北東部の神楽)/福井県に伝わった 島、青葉台、大門町、今津町、神村町、新市 日向神楽 福井県指定無形民俗文化財

#### ◆後記\_\_\_\_

本年1月、日外アソシエーツから筆者の監修で、『郷土ゆかりの人々一地方史誌にとりあげられ た人物文献目録』を刊行した。データは、『地方史文献年鑑』(岩田書院、1997年版~2013年版) に拠り、19.877人、46.729点の文献を収録した(本誌「寄贈図書紹介 | p.54参照)。郷土ゆかりの 人物とは、郷土を生活の本拠として活躍し、そこに身を埋めた人物、郷土から出でて名を成し、 郷土の人々が誇りとする人物、他郷者ながらその土地に多大な影響を与えた、あるいは、関心 をもたれた人物である。活躍地により都道府県別に配置したが、そのことに違和感を覚えられ る方もあろうかと思う。また、収録許容量の関係から雑誌追悼号の文献は追悼号名のみに留め ざるを得なかったことなどの不備・不十分さも残った。だが、柳田国男が『郷土生活の研究法』 で説いたように、郷土研究が郷土人によってなされることの重要さや、多くの人物文献目録が、 郷土史関係雑誌の文献を殆ど対象外としていることなど考えあわせれば、関係地域における評 価を組織化することは意義あることと思う。これに着目して本書を企画・編集されたのは日外 アソシエーツ編集部の簡志帆さんである。目録としては異例な素敵なタイトルをつけられたこ とにも敬意を表したい。併せて、『地方史文献年鑑』からのデータ転用を快諾された岩田博社長 と、創刊以来データ構築を担ってくれている白鳥社の白鳥聰さんにも御礼を申し上げたい。申 すまでもないが、同年鑑は、全国の郷土史研究団体、道府県立図書館及び個人のご協力の賜物 である。改めて感謝を申し述べるとともに、今後一層のご支援をお願いする次第である。(飯澤)

地方史情報 128 2016年(平成28年)3月 発行 http://www.iwata-shoin.co.jp 定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137 発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南島山4-25-6-103 TELO3-3326-3757